

KENWOOD

DVD/VCD/CD プレーヤー

DVF-7060



取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

ご使用前に、「安全上のご注意」(4～7ページ)を必ずお読みください。

はじめに


最新のデジタルオーディオフォーマットであるDVDオーディオに対応


DVD オーディオでは、マルチチャンネルの場合 96 kHz までを、ステレオでは 192kHz までのサンプリング周波数をサポートします。(最大 6ch./96kHz 24bit、2ch./192 kHz 24 bit)


この革新的な技術により、今までに無い高音質再生が可能になります。

DVD ビデオの多彩な機能をお楽しみください

DVDは、S-VHS ビデオ (水平解像度 400 本)、レーザーディスク (水平解像度 430 本) を超える水平解像度 500 本以上を実現。

マルチ音声機能：  のアイコン表示のある DVD ディスクでは、最大 8 カ国語の音声言語の中からお好みの言語に切り換えてお楽しみいただけます。(音声言語数はディスクにより異なります)

マルチ字幕機能：  のアイコン表示のある DVD ディスクでは、最大 32 カ国語の字幕言語の中からお好みの言語に切り換えてお楽しみいただけます。(字幕言語数はディスクにより異なります)

ANGLE 機能：  のアイコン表示のある DVD ディスクでは、最大 9 までのアングルで同じ被写体の映像を切り換えてお楽しみいただけます。(アングル数はディスクにより異なります)

各種デジタルサラウンドソフトに対応

DOLBY DIGITAL ^{デジタル}デコーダー、**DTS** ^{デジタル}デコーダー、**MPEG マルチチャンネルデコーダー**、**Packed PCM** ^{パックド}デコーダーを内蔵。ご自宅で、本格的なシネマサウンドを楽しめます。また手軽にお手持ちのテレビに接続して再生することもできます。

6ch出力端子を装備

6ch入力対応のアンプに接続し、ハイビット・ハイサンプリングのマルチチャンネルサウンドを楽しむことができます。

CD-R、CD-RWディスク* 対応DVDプレーヤー

音楽CDに加えて、CD-R (Compact Disc Recordable) ^{コンパクト ディスク レコーダブル} (追記型)、CD-RW (Compact Disc Rewritable) ^{コンパクト ディスク リライタブル} (書き換え型) に録音された曲の再生ができます。

* ファイナライズされたディスクのみ再生可能です。ただし、ディスクによっては再生できない場合があります。

MP3ファイルが再生可能

最新の音楽データである MP3 ファイルが再生できます。MP3 ファイルによっては再生できない場合があります。

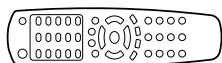
プログレッシブスキャン

画像表示方式をインターレースまたは プログレッシブに切り換えることができます。

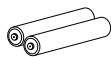
付属品

次の付属品が同梱されていることを確認してください。

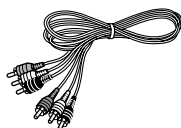
リモコン (1)



リモコン用乾電池 (単4形電池) (2)



オーディオ/ビデオケーブル (1)



コアキシャルケーブル (1)



目次

⚠ このマークのついた項目は、安全確保のために必ずお読みください。

はじめに	2	ディスクをセットする	22	アングルを切り換える	37
付属品	2	基本操作について	22	ノイズリダクションを調整する	38
⚠ 安全上のご注意	4	ディスクや本機の状態による操作制限	22	画質を調整する	38
再生できるディスクの方式と種類	8	再生をする	22	第5章：応用的な操作	39
再生できないディスク	8	グループ、タイトル、チャプター、トラックまたは		再生モードを切り換える	40
DVDディスクに表示されている		ファイルを選び再生する	23	プログラム再生をする	40
各種のアイコンについて	8	トラック、チャプターまたはファイルの飛び越しをする		プログラムの登録と再生	40
本機のリージョンコードについて		23	プログラムを消去する	41
(DVDビデオディスクのみ)	8	再生を止める	23	プログラム再生を止める	41
ビデオフォーマットについて	9	一時停止またはスチルにする	23	ランダム再生をする	41
ビデオフォーマットの確認	9	コマ送りをする	23	ランダム再生を止める	41
第1章：機器の接続	10	早戻し・早送りする	24	MP3ディスクの操作	42
始める前に	11	逆スロー再生・スロー再生をする	24	ボーナスグループについて	42
リモコンの準備	11	DVDのメニュー再生をする	25	第6章：各種設定	43
電池の取り付け方法	11	P.B.C.付きのVCDのメニュー再生をする	25	設定画面の基本操作	44
リモコンの操作範囲	11	DVD オーディオのインデックスの飛び越しをする		"MAIN" の設定	45
本機で再生できるMP3ファイルについて	11	26	"SETUP MENU"で"MAIN"を選んだとき：	45
MP3ファイルに圧縮するとき	11	DVD オーディオの静止画像を切り換える	26	"視聴制限" の設定	47
付加情報について	11	時間表示を切り換える	26	暗証番号を入力する	47
テレビやステレオシステムとの接続	12	リピート再生をする	27	"SOUND" の設定	48
テレビとの接続方法	13	音声言語を切り換える	28	"SETUP MENU"で"SOUND"を選んだとき：	48
ステレオシステムとの接続方法	13	アングルを切り換える	28	"スピーカー設定"	50
本機の設定	13	第4章：OSDの操作	29	ディスタンス設定について	53
AVアンプとの接続	14	OSDの基本操作	30	"VISUAL" の設定	54
AVアンプとの接続方法	15	"MAIN" OSDの操作	31	"SETUP MENU"で"VISUAL"を選んだとき：	54
本機の設定	15	グループ、トラック、タイトル、チャプター、フォルダ		ディスクの言語コード表	57
第2章：各部の名称	16	またはファイルを選ぶ	31	第7章：その他	58
フロントパネル	17	時間表示の切り換えとタイムサーチ機能	32	知っておきましょう	59
ディスプレイ	18	メモリー再生をする	33	故障かな?と思ったら	61
ディスプレイの明るさを切り換える	18	リピート再生をする	33	用語の解説	63
リモコン	19	A-B リピート再生をする	34	保証とアフターサービス (よくお読みください) ...	65
第3章：基本的な操作	20	"SOUND" OSDの操作	35	ケンウッド全国サービス網	66
ディスクの構成	21	音声言語を切り換える	35	定格	68
電源を入れる	21	パーチャルサラウンド機能	35		
スタンバイ状態について：	21	シネマボイス機能	36		
		ダウンミックス機能	36		
		"VISUAL" OSDの操作	36		
		字幕言語を切り換える	37		
		ID3-タグ情報について	37		

安全上のご注意 このページは、感電や火災からあなたを守るため、ご使用前に必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。


お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害


絵表示の例



 記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。


図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。（説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります）

警告

交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない



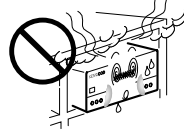
この機器は、交流 100 ボルト専用です。指定以外の電源電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

放熱に注意



設置の際は、壁から 10cm 以上離してください。機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔ですので、ふさがないようにご注意ください。

- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
- 風通しの悪い狭い所に押し込まない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上において使用しない。



通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない



風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



異常が起きた場合は



煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。



ケースを絶対に開けないでください



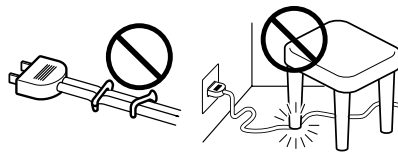
機器の裏ふた、カバーを開けたり、改造をしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。



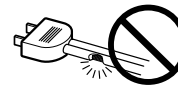
電源コードの取扱い



電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステーブルや釘などで固定しないでください。また、電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。
コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。



電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源プラグは清潔に



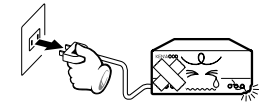
電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



落下した機器は使わない



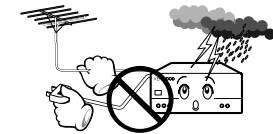
機器を落としたり、カバーやケースがこわれた場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



雷が鳴り始めたら



アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



電池は放置しない



電池は、幼児の手の届かないところへ置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。
電池をあやまって飲み込むおそれがあります。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

警告

乾電池は充電しない



乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。



機器の内部に水や異物を入れな



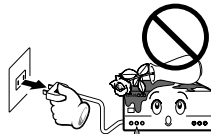
機器の上に花瓶やコップなど水の入った容器を置かないでください。こぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。



機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。



内部に水や異物などが入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

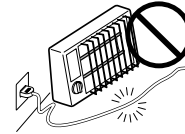


注意

電源コードを熱器具に近付けない



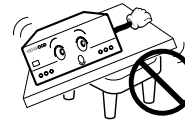
電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



不安定な場所には置かない



ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。



落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

湿気やほこりのある場所に置かない



油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



温度の高い場所には置かない



窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



長期間使用しないときは



旅行などで長期間、ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

電源プラグの抜き差しは



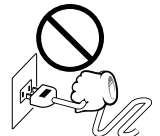
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



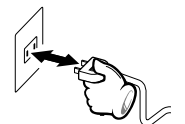
電源プラグは、根元まで差し込んでゆりみがあるコンセントに接続しないでください。

発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。



差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

⚠ 注意

指定以外のコードを使わない



関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

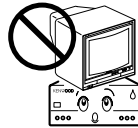
指定以外のコードを使用したりコードを延長すると発熱し、やけどの原因となることがあります。

指定機器以外の物を乗せない



この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かないでください。

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



アンテナ工事



アンテナ工事には、技術と経験が必要です。販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

機器に乗らない



この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



指をはさまない



お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に手を入れないようご注意ください。指がはさまれて、けがの原因となることがあります。

レーザー光源はのぞかない



レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。

ひび割れディスクは使わない



ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

音量に気をつけて

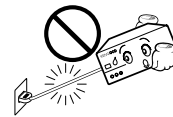


はじめに音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにしてください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

移動させる際は



移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

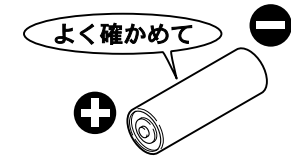


電池の取扱い



電池は誤った使い方をすると、破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示(プラス" +"とマイナス" -"の向き)に注意し、表示通りに入れてください。



- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。

お手入れの際は



お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。



3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのケンウッドサービス窓口に費用を含めご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。


再生できるディスクの方式と種類

DVDオーディオ 	12 cm または 8 cm
DVDビデオ 	12 cm または 8 cm
VCD 	12 cm または 8 cm
CD (CD-R, CD-RW) 	12 cm または 8 cm

再生できないディスク

フォト CD は絶対に再生しないでください。

それ以外の再生できないディスク

- SACD、DVD-ROM、DVD-R/RAM、DVD-RW、DVD+R/+RW、CD-ROM (MP3ディスク [ISO 9660 レベル 1、2] を除く)、VSD、CDV*、CD-G*、CD-EG*、CD-EXTRA*^{エキストラ}など
* 音声部分のみ再生可能
- リージョンコード (地域番号) が本機と合わない、または含まれていない DVD ビデオ。詳しくは、「本機のリージョンコードについて」を参照してください。
- ディスクとお使いのテレビのビデオフォーマットが合っていない場合は、そのディスクは正しく再生できません。詳しくは、「ビデオフォーマットについて」を参照してください。 → 

- 変形ディスク (星形、ハート形等)、ひび割れがある、大きく反ったディスク等は、ご使用にならないでください。故障の原因となります。

DVDディスクに表示されている各種のアイコンについて



再生可能なリージョンコード (地域番号) を表します。



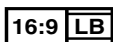
オーディオ機能の言語数を示します。アイコン中に表示されている数字が言語数を表します。(最大 8 カ国語)



サブタイトル機能の字幕言語数を示します。アイコン中に表示されている数字が言語数を表します。(最大 32 カ国語)







アングル機能のアングル数を示します。アイコン中に表示されている数字がアングル数を表します。(最大 9 アングル)



選ぶことのできるアスペクト比を示します。LB はレターボックス、PSはパン&スキャンを表します。(このアイコンを例にすると、16:9の映像からレターボックスに変換できることを表しています)

本機のリージョンコードについて (DVDビデオディスクのみ)

本機には、国ごとに割り当てられたリージョンコード (地域番号) が定められており、DVDビデオに表示されている地域番号と一致あるいは、含まれていないと再生できません。

- 本機のリージョンコードは  です。
- ディスクのジャケットに表示されているリージョンコードが 、 または  のように "2" を含むもの場合に本機で再生できます。
- リージョンコードが表示されていないディスクなどは本機で再生できない場合があります。

ディスクを購入される場合は、本機で再生できるディスクがよく確かめてください。

ビデオフォーマットについて

テレビの画面表示方法およびディスクの信号方式には大きく分けて2つのテレビ方式（NTSC/PAL）があり、国や地域によって異なります。

本機は、NTSC方式のディスクはNTSC方式で再生します。（PAL方式のディスクは再生できません。）

主な国のテレビ方式

NTSC：日本、台湾、韓国、アメリカ、カナダ、メキシコ、フィリピン、チリなど

PAL：中国、イギリス、ドイツ、オーストラリア、ニュージーランド、クウェート、シンガポールなど

ビデオフォーマットの確認

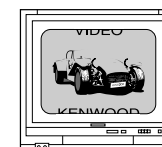
本機で再生できるVCD、DVDディスクのビデオフォーマットについて確認してください。

1. お使いになるテレビと再生するディスクのビデオフォーマットが合っていることを確認します。
 - 詳しくはお手持ちのテレビやディスクに付属の取扱説明書をお読みください。
2. NTSC/PAL 切り換え式のテレビをご使用の場合は、ディスクの方式に合わせてテレビの方式を設定します。

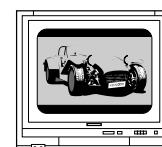
テレビの方式	再生できるディスクの方式
NTSC方式専用	NTSC
PAL方式専用	PAL
NTSC/PAL切り換え式	NTSC/PAL

- テレビとディスクのビデオフォーマットが合っていないと正しい映像が再生できません。

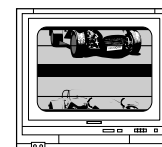
ビデオフォーマットが合っていないとき：ディスクを再生したときに、ディスクとテレビのビデオフォーマットが合っていないと、白黒になったり、テレビ画面が図のようになります。



上下が切れてしまう



上下が黒くなる



同期があわないため画面が乱れる

第1章：機器の接続

このマニュアルでは、本機への最も一般的、標準的な接続を取り扱っています。関連システム製品を接続するときは、関連機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

以下の機器の接続の詳細については、下記のページを参照してください。

始める前に → [11](#)

リモコンの準備 → [11](#)

本機で再生できるMP3 ファイルについて → [11](#)

テレビやステレオシステムとの接続 → [12](#)

AVアンプとの接続 → [14](#)

始める前に

すべての接続が完了するまではプレーヤーやその他の機器の電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

すべての接続ケーブルは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、映像や音声が出なかったり、雑音が発生することがあります。

接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを抜かずに接続ケーブルの抜き差しを行うと、誤作動または破損の原因となります。

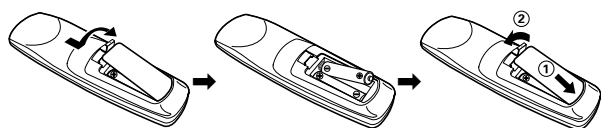
DVDオーディオを再生した場合、本機から出力されるオーディオ信号は高音域まで再生することができます。このため、突然の大音量により、スピーカーが破損する場合がありますのでご使用のスピーカーが、高音域再生に適しているものでないときは、「音声フィルター」を「フィルター110kHz」にしないでください。 →[49](#)

また、ボリュームの上げ下げは、かならず音量を確認しながら調節してください。

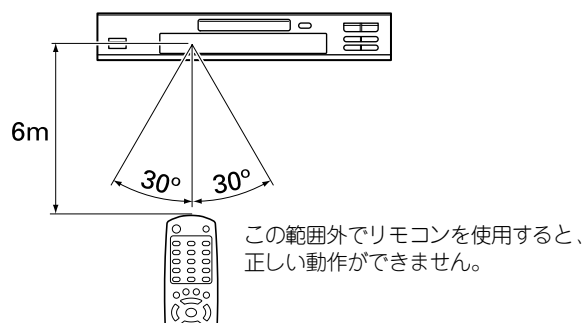
リモコンの準備

電池の取り付け方法

カバーをあげ、単4乾電池を極性マークに合わせて入れカバーを閉じます。



リモコンの操作範囲



- リモコンの操作距離が短くなったら、2個とも新しい乾電池と交換してください。
- プレーヤーを設置する際は、リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバータ方式等）の蛍光灯の光が直接あたるような場所には設置しないでください。リモコンの操作範囲がせまくなってしまいます。

本機で再生できるMP3ファイルについて

MP3ファイルに圧縮するとき

MP3ファイルに圧縮するときには、圧縮ソフトの転送ビットレートを次のように設定してください：

MP3ファイル：推奨 128kbps (32 kbps-320 kbps)

- 本機は、32kHz、44.1kHz（推奨）、48kHzのサンプリング周波数に対応しています。

MP3ファイルは、高音質の音声ファイルをかなり高い圧縮率で圧縮するため、オーディオCDの数倍の曲数を1枚のメディアに収録させることができます。複数のジャンルやアーティストの曲を1枚のメディアに収録するときは、ジャンルやアーティスト、アルバム別のフォルダに分けてから収録すると検索やリピート再生をするときに便利です。

- 本機で再生できる最大フォルダ数は999、ファイル数は999に制限されています。
- 書き込みソフトによっては、意図した順番に書き込まれない場合もあります。

- 本機は、クローズ処理をしたセッションのみを再生することができます。

- 本機はマルチセッションディスクに対応しています。
- 第1セッションが音楽CDデータ（CD-DAデータ）であるディスクは、音楽CDデータ（CD-DAデータ）のみを再生します。このようなディスクの場合、第2セッション以降のMP3ファイルは再生しません。

ただし、セッション数が"2"でなおかつ第2セッションが音楽CDデータ（CD-DAデータ）のディスクの場合には、音楽CDデータ（CD-DAデータ）を再生し、第1セッションは再生しません。

付加情報について

使用できるフォーマット：
ISO9660 レベル1、2（拡張フォーマット除く）

テキスト表示について

ファイル、フォルダ名とも大文字小文字英数字、最大31文字を表示します。

時間表示について

MP3ファイルは、「**Single Time**」のみを表示します。

ID3-TAG 情報について

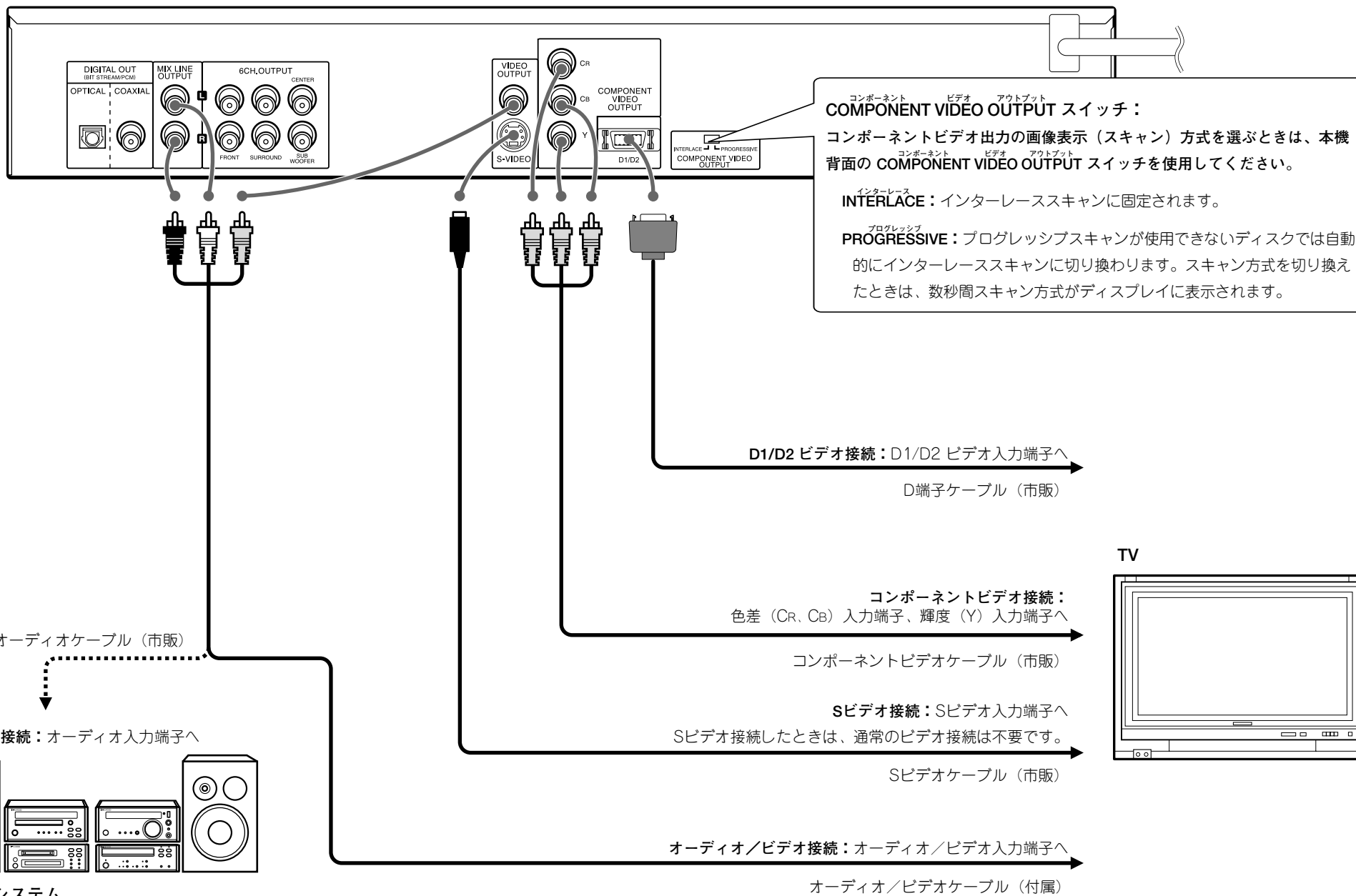
本機では、バージョン1に対応しています。

MP3ファイルのデジタル出力について

本機では、MP3ファイル再生時のデジタル信号は出力されますが、この場合デジタルでのコピーはできません。

テレビやステレオシステムとの接続

(ビデオ接続は、お手持ちのテレビに合わせて接続方法をお選びください。)



テレビやステレオシステムとの接続

すべての機器の接続が完了するまでは本機や接続する機器の電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

テレビの接続端子や機能の詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。

本機のビデオ出力は、直接テレビに接続してください。ビデオデッキを経由して接続するとコピー防止機能の働きにより、再生のときに画像が乱れることがあります。

テレビとの接続方法

オーディオ/ビデオ接続：接続するテレビのオーディオ入力端子と本機の **MIX LINE OUTPUT** 端子を付属のオーディオ/ビデオケーブルで接続します。接続するテレビのビデオ入力端子と本機の **VIDEO OUTPUT** 端子を付属のオーディオ/ビデオケーブルで接続します。

S ビデオ接続：接続するテレビにSビデオ端子がある場合は、本機の **S-VIDEO** 端子にSビデオケーブルで接続します。

- 輝度信号（Y）とカラー信号（C）に分離してテレビに出力するため、通常のビデオ接続より鮮明な画像を得られます。

D1 ビデオ接続：接続するテレビやモニターにD1ビデオ端子がある場合は、本機の **D1/D2** 端子に、D端子ケーブルを使い接続します。

- D1ビデオ接続をする場合は、本機の **COMPONENT VIDEO OUTPUT** スイッチを **INTERLACE**（インターレース方式）に切り換えてください。
- コンポーネントビデオ接続が、ケーブル 1 本で手軽に行えます。（本機の **COMPONENT VIDEO OUTPUT** 端子との同時出力も可能です）

D2 ビデオ接続：接続するテレビやモニターにD3/D4ビデオ端子がある場合は、本機の **D1/D2** 端子に、D端子ケーブルを使い接続します。

- D2ビデオ接続をする場合は、本機の **COMPONENT VIDEO OUTPUT** スイッチを **PROGRESSIVE**（プログレッシブ方式）に切り換えてください。
- BSデジタル対応テレビなどとの接続でプログレッシブ（525p）映像を楽しめます。

コンポーネントビデオ接続：接続するテレビにコンポーネントビデオ端子がある場合は、本機の **COMPONENT VIDEO OUTPUT** 端子の **Y**、**CB**、**CR** それぞれの端子に、コンポーネントビデオケーブルを使い接続します。

- 輝度信号（Y）、色差信号（CB、CR）に分離してテレビに出力するため、Sビデオ接続よりさらに鮮明な画像が得られます。
- ご使用のテレビやモニターにより本機の端子名称と異なる（Y、Pb、PrやY、B-Y、R-Yなど）場合があります。
- インターレース（525i）、プログレッシブ（525p）に対応していないハイビジョンテレビのコンポーネントビデオ入力端子には接続しないでください。（詳しくは、接続するハイビジョンテレビの取扱説明書を参照してください）

COMPONENT VIDEO OUTPUT スイッチ：画像表示方式（インターレース方式とプログレッシブ方式）を切り換えるときに使います。本機の **COMPONENT VIDEO OUTPUT** 端子、**D1/D2** 端子のビデオ出力を切り換えます。

ステレオシステムとの接続方法

オーディオ接続：接続するステレオシステムなどのオーディオ入力端子と本機の **MIX LINE OUTPUT** 端子をオーディオケーブルで接続します。

本機の設定

本機のメニュー画面の設定：本機のメニュー画面の言語表示を選ぶことができます。

- 工場出荷時は日本語になっています。

"プレーヤーメニュー言語" の設定 → [54](#)

テレビに関する設定：本機に接続したテレビに合わせて設定します。

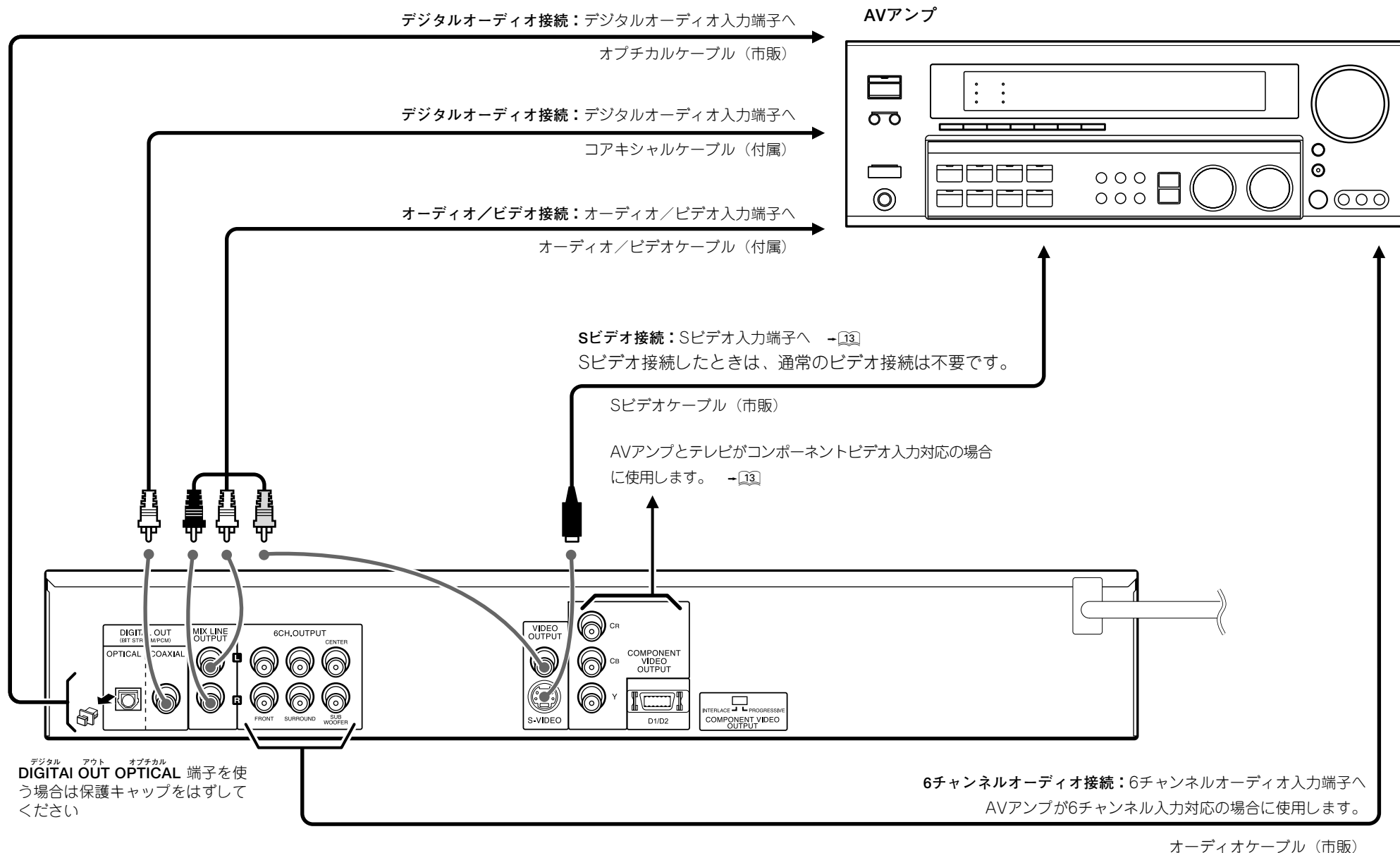
"TV アスペクト" の設定 → [45](#)

"TV モード" の設定 → [45](#)

"TV モニター設定" → [45](#)

AVアンプとの接続

機器の接続



AVアンプとの接続

すべての機器の接続が完了するまでは本機や接続する機器の電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

AVアンプの接続端子や機能の詳細については、AVアンプの取扱説明書を参照してください。

本機のビデオ出力は、直接 AV アンプに接続してください。ビデオデッキを経由して接続するとコピー防止機能の働きにより、再生のときに画像が乱れることがあります。

AVアンプとの接続方法

6チャンネルオーディオ接続：接続するAVアンプに6チャンネルオーディオ入力端子がある場合は、本機の **6CH. OUTPUT** の各端子を接続します。

- 6チャンネル入力に対応していないアンプと接続する場合は、**MIX LINE OUTPUT** 端子からの音声信号をお選びください。マルチチャンネルサラウンドの音声をダウンミックスして出力します。 → [63]

オーディオ/ビデオ接続：接続するAVアンプのオーディオ入力端子と本機の **MIX LINE OUTPUT** 端子を付属のオーディオ/ビデオケーブルで接続します。接続するAVアンプのビデオ入力端子と本機の **VIDEO OUTPUT** 端子を付属のオーディオ/ビデオケーブルで接続します。

デジタルオーディオ接続：接続するAVアンプのデジタルオーディオ入力端子と本機の **DIGITAL OUT COAXIAL** 端子を接続します。

- オプティカルケーブルを使用して **DIGITAL OUT OPTICAL** 端子を使いデジタル接続することもできます。

本機の設定

本機のメニュー画面の設定：本機のメニュー画面の言語表示を選ぶことができます。

- 工場出荷時は日本語になっています。

"プレーヤーメニュー言語" の設定 → [54]

デジタルオーディオ接続の設定：お持ちのAVアンプに、**DOLBY DIGITAL**、**DTS**、**MPEG** デコーダーのうちいずれか内蔵されていないものがある場合は、デジタルオーディオ接続をしたらず **"デジタル出力"** の設定をします。

内蔵デコーダーがないものについては **"デジタル出力"** の設定を **"PCM"** に設定してください。初期設定の **"ビットストリーム"** のままで再生すると、耳を刺激するような雑音が発生し、スピーカーを破損する場合があります。

"デジタル出力PCMダウンサンプリング変換" の設定 → [48]

"デジタル出力 **DOLBY DIGITAL**" の設定 → [48]

"デジタル出力 **DTS**" の設定 → [48]

"デジタル出力 **MPEG**" の設定 → [48]

6チャンネル接続した場合の設定：本機の **6CH. OUTPUT** 端子を使って接続したときは、スピーカーの設定を行います。

"スピーカー設定 (カスタム)" → [50]

"スピーカー設定 (クイック)" → [52]

DVD オーディオの音声出力について

MIX LINE OUTPUT、**DIGITAL OUT COAXIAL**、**DIGITAL OPTICAL** の各端子は、**"PROHIBIT DOWN MIX"** (ダウンミックス禁止) と本機のディスプレイにスクロール表示したときには、ダウンミックスされた 2ch 信号ではなく、フロント (L/R) チャンネルのみを出力します。また、**6CH. OUTPUT** 端子はスピーカー設定に関わらず、DVDオーディオディスクのオリジナルのチャンネル数で出力します。Packed PCM を再生しているときは、**"PROHIBIT DOWN MIX"** (ダウンミックス禁止) の表示に関わらず **6CH. OUTPUT** 端子からはオリジナルのチャンネル数で出力します。

DTSに関する注意事項


DTSデジタルサラウンドは独立した5.1チャンネルのデジタルオーディオフォーマットで、CD、LD、そしてDVDソフトウェアに使われていますが、たいていのCD、LD、DVDプレーヤーではデコードできませんし、また再生もできません。このため、DTSでエンコードされたソフトウェアを再生すると、CD、LD、またはDVDプレーヤーのアナログステレオ出力から雑音が出ることがあります。これらのアナログステレオ出力がアンプまたはレシーバーに直接接続されている場合にはご注意ください。


本機はDTSデジタルサラウンドデコーダーを搭載しています。


第2章：各部の名称

本章では、本機のフロントパネルのボタン、ディスプレイと付属のリモコンの説明を行います。

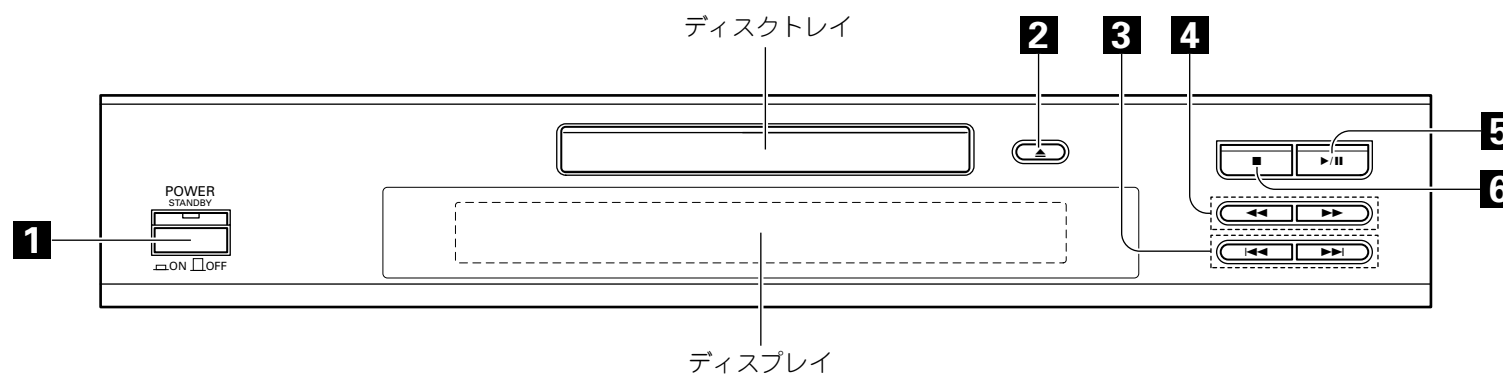
本章は以下の項目で構成されています。

フロントパネル → 17

ディスプレイ → 18

リモコン → 19

フロントパネル



1 ^{パワー オン オフ} POWER ON/OFF ボタン / ^{スタンバイ} "STANDBY" インジケータ → [21](#)

2 ▲ (オープン/クローズ) ボタン → [22](#)

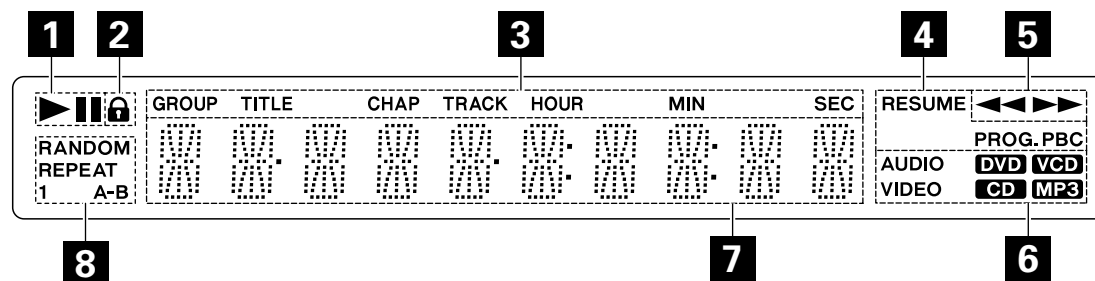
3 ◀◀/▶▶ (スキップ) ボタン → [23](#)

4 ◀◀/▶▶ (サーチ) ボタン → [24](#)

5 ▶/|| (再生/一時停止) ボタン → [22](#) → [23](#)

6 ■ (停止) ボタン → [23](#)

ディスプレイ



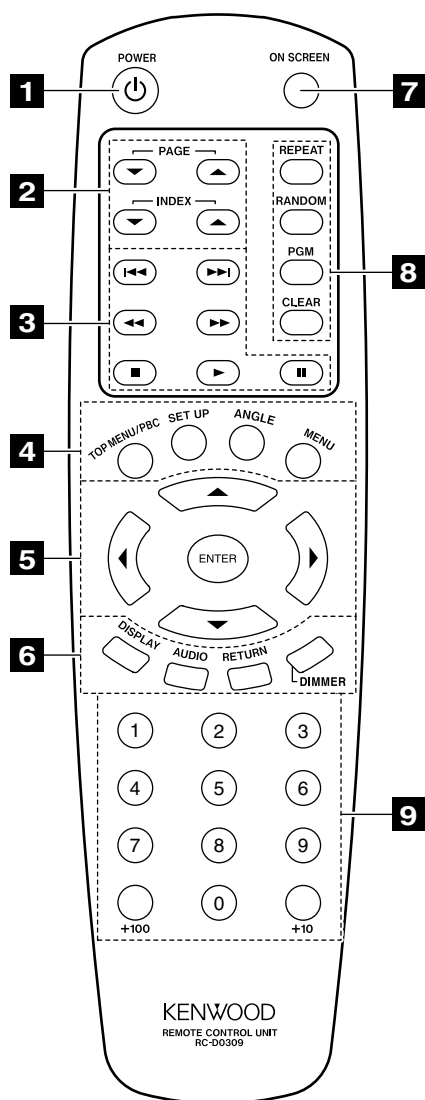
- 1** 操作インジケータ
- 2** キーロックインジケータ → [47](#)
- 3** CD(CD-R/RW)、VCD、DVD 関連インジケータ
- 4** "RESUME"、"PROG."、"PBC" インジケータ → [23](#) → [25](#) → [40](#)
- 5** ◀ / ▶ インジケータ → [24](#)
- 6** "CD"、"VCD"、"DVD VIDEO"、"DVD AUDIO"、
"MP3" インジケータ
- 7** 文字情報表示部 → [26](#) → [27](#) → [33](#)
- 8** 特殊再生関連インジケータ → [27](#) → [33](#) → [34](#) → [41](#)

ディスプレイの明るさを切り換える

リモコンの ^{ディマー}DIMMER ボタンを押すたびに、ディスプレイの明るさが3段階に切り換わります。

リモコン

本体部と同じ名前のボタンは、本体部と同じ働きをします。



型名：RC-D0309（赤外線方式）

- 1** ^{パワー} POWER ボタン → [21](#)
- 2** ^{ページ} PAGE ▼、^{ページ} PAGE ▲ ボタン → [26](#)
^{インデックス} INDEX ▼、^{インデックス} INDEX ▲ ボタン → [26](#)
- 3** ◀◀/▶▶ ボタン → [23](#)
◀▶ ボタン → [24](#)
■ ボタン → [23](#)
▶ ボタン → [22](#)
|| ボタン → [23](#)
- 4** ^{トップ} TOP MENU/PBC ^{メニュー} ボタン → [25](#)
^{セット アップ} SET UP ボタン → [44](#)
^{アングル} ANGLE ボタン → [28](#)
^{メニュー} MENU ボタン → [25](#)
- 5** カーソルボタン → [30](#)
^{エンター} ENTER ボタン → [22](#) → [25](#) → [30](#)
- 6** ^{ディスプレイ} DISPLAY ボタン → [26](#)
^{オーディオ} AUDIO ボタン → [28](#)
^{リターン} RETURN ボタン → [25](#)
^{ディマー} DIMMER ボタン → [18](#)
- 7** ^{オン スクリーン} ON SCREEN ボタン → [30](#)
- 8** ^{リピート} REPEAT ボタン → [27](#)
^{ランダム} RANDOM ボタン → [41](#)
PGM ボタン → [40](#)
^{クリアー} CLEAR ボタン → [40](#)
- 9** 数字ボタン → [23](#) → [32](#)

第3章：基本的な操作

本章では、本体の操作ボタンとリモコンの操作ボタンの基本的な操作を説明します。

本章は以下の項目で構成されています。

ディスクの構成 → [21](#)

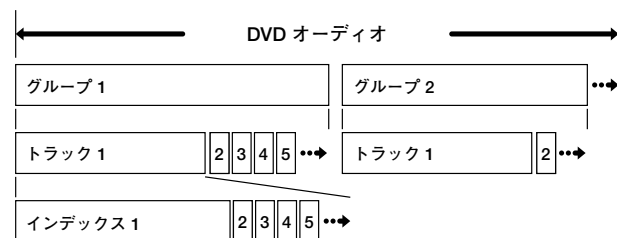
電源を入れる → [21](#)

ディスクをセットする → [22](#)

基本操作について → [22](#)

ディスクの構成

DVDオーディオのディスクの構成



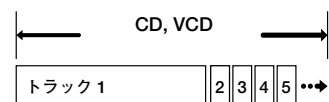
グループはDVDオーディオに記録されている曲の一番大きい単位をいいます。1つのグループはいくつかのトラックで構成され、トラックはいくつかのインデックスで構成されます。

DVDビデオのディスクの構成



タイトルは映像や曲の一番大きい単位をいいます。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成されています。

CD、VCDのディスクの構成



MP3-3のディスクの構成



フォルダはディスクに記録されている一番大きい単位をいいます。1つのフォルダが1つ以上のファイルで構成されている場合もありますが、ファイルがフォルダに入っておらず、直接ディスクに記録されているものもあります。また、フォルダの中にフォルダがあるといった階層構造になっているディスクもあります。ファイル番号はフォルダ毎に付かず、ディスクのファイル全体で通算されて番号が付きます。

電源を入れる

1. TVの準備をするときは

TVの入力切換を、本機の再生する画像が見られるようにします。

AVアンプの準備をするときは

アンプの入力切換を、本機の再生する音声が聞こえるようにします。

2. 本体の **POWER ON/OFF** ボタンを押します。

本機がスタンバイ状態のときは、リモコンの **POWER** ボタンを押します。

- 本機をオンにすると、トレイ内にセットされているディスクの有無を読み取ります。このとき、ディスクがトレイにあれば、自動的に再生をはじめます。
- 本機で再生できないディスクのときは "NO PLAY" と表示します。

[スタンバイ状態にする]

- 電源がオンのときに、リモコンの **POWER** ボタンを押すと、"STANDBY" インジケータが点灯し、本機がスタンバイ状態になります。

[電源を切る]

- 電源がオンまたはスタンバイ状態のときに、本体の **POWER ON/OFF** ボタンを押すと、電源をオフにできます。

スタンバイ状態について：

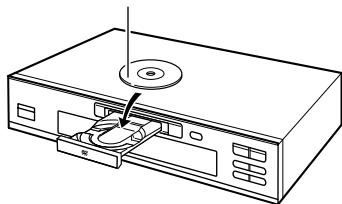
本機の "STANDBY" インジケータが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいます。このとき、リモコンで本機をオンできます。

ディスクをセットする

1. 本体の ▲ ボタンを押すとトレイが開きます。

(もう一度押すと閉まります。)

ラベル面を上にしてください(両面ディスクでは、再生したいラベル面を上にしてください)



- 再生するディスクをトレイの溝に合わせて置きます。(ディスクを斜めに置いたり、重ねたりすると故障の原因になります)
- ディスクを取り扱うときはディスク表面にふれないようにします。
- 市販のCDシングル(8cm)ディスクアダプターは、本機では使用できません。

2. 本体の ▲ ボタンを押すとトレイが閉まります。

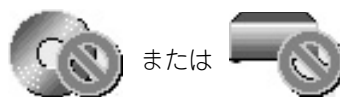
基本操作について

ディスクや本機の状態による操作制限

DVD や VCD は、ソフト制作者の意図により、操作が制限されていることがあります。また本機の状態により操作が制限される場合もあります。

本機では、ソフト制作者が意図したディスクの内容にしたがって再生を行うため、操作した通りに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずお読みください。操作中に、本機に接続したテレビの画面に禁止アイコンが表示されることがありますが、上記の制限状態にあることを示します。

禁止アイコン



再生をする

停止しているときに、▶ ボタンを押すと、再生をはじめます。

- リモコンで操作するときは ▶ ボタンまたは **ENTER** ボタンを押します。
- テレビに **Play** が表示され、ディスプレイの ▶ インジケータが点灯します。
- ディスクの種類に応じ、ディスプレイに " **CD** "、" **VCD** "、" **DVD AUDIO** "または、" **DVD VIDEO** " インジケータが点灯します。
- CD-R、CD-RWは、ディスクによっては再生できない場合があります。(" **NO PLAY** "と表示します)
- MP3ディスクのときは、" **MP3** " インジケータが点灯します。
- DVDやVCDによっては、最初にメニュー画面を表示するものがあります。

グループ、トラック、タイトル、 チャプターまたはファイルを選び再生する

リモコンの **0**、**9**、**+10** と **+100** ボタンでグループ、トラック、タイトル、チャプターまたはファイルのナンバーを入力します。

- DVD の場合は、再生中に番号入力したときは、グループ、タイトル内の指定したトラックやチャプターから再生をはじめます。また、停止中のときに番号入力したときは、指定したグループ、タイトルの最小トラックやチャプターから再生をはじめます。
- CD や VCD (P.B.C. オフ時) の場合は、入力したトラックのはじめから再生をはじめます。
- MP3ディスクの場合は、入力したファイルのはじめから再生をはじめます。

トラック、チャプターまたはファイルの飛び越しをする

◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを押します。

- 押した方向に飛び越して、選んだトラック、チャプターやファイルの最初から再生します。
- 再生中に ◀◀ ボタンを1回押すと、そのトラック、チャプターやファイルの最初に戻ります。
- VCD で P.B.C. がオンのときは ◀◀ (PREVIOUS) ボタンまたは ▶▶ (NEXT) ボタンとして機能します。 → 25

再生を止める

再生しているときに、■ ボタンを押すとリジューム機能が働きます。もう一度ボタンを押すと再生が止まります。

- 再生する DVD によっては ■ ボタンを押しても禁止アイコンが表示され停止しないことがあります。
- リジューム機能が働くと停止した場所を記憶します。再び本体の ▶/■ ボタンまたはリモコンの ▶ ボタンを押すと同じ所から再生を続けることができます。
- リジューム中は、ディスプレイの "▶"、"RESUME" ^{リジューム} インジケーターが点滅し、記憶した場所の時間を表示します。
- ランダム再生中またはVCD再生中 (PBCオンのとき)、リジューム機能は働きません。
- MP3ファイルを再生中は、リジューム機能は以下のよう
に働きます：
リジューム位置は、再生していたファイルのはじめにもどります。

一時停止またはスチルにする

再生中に本体の▶/■ボタンまたはリモコンの ■ ボタンを押します。

- テレビに "Pause" ^{ポーズ} または "Still" ^{スチル} と表示し、ディスプレイの ■ インジケーターが点灯します。
- 通常の再生に戻るときは本体の ▶/■ ボタンまたはリモコンの ▶ ボタンを押します。
- "IPB 表示" がオンのときは、DVDビデオのスチルをするたびにテレビに "Still (I)" ^{スチル}、"Still (P)" ^{スチル}、"Still (B)" ^{スチル} のいずれか1つを表示します。 → 46

コマ送りをする

DVDビデオ、VCDをスチル中にリモコンの ■ ボタンを押します。

- ■ ボタンを離すとスチル状態になります。
- 押した回数分コマ送りをします。続けてコマ送りを行うときは、ボタンを押したままにします。
- 通常の再生に戻るときは本体の ▶/■ ボタンまたはリモコンの ▶ ボタンを押します。
- "IPB 表示" がオンのときは、DVDビデオのコマ送りをするたびにテレビに "Still (I)" ^{スチル}、"Still (P)" ^{スチル}、"Still (B)" ^{スチル} のいずれか1つを表示します。 → 46

早戻し・早送りする

再生中に ◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを押します。

- OSDを表示している場合は、**ON SCREEN** ボタンを押すとOSD表示がオフになり速度表示に切り換わります。
- ◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを1回押すと低速の早戻し・早送りを続けます。押すたびに速度が上がり、全部で5段階の速度が選べます。また速度によりディスプレイの ◀◀ / ▶▶ インジケーターが点灯もしくは点滅します。



図のようにテレビ画面に速度表示し、早戻し・早送りの速度に合わせて表示が変化します。

- 再生するディスクや本機の状態により、ディスプレイに、時間表示または、"**SEARCH**" と表示します。

"**SEARCH**" が表示されるとき：

時間表示をしないDVDを再生中に表示します
VCDのP.B.C.再生中に表示します

- 通常の再生に戻るときは本体の ▶/|| ボタンまたはリモコンの ▶ ボタンを押します。
- 早戻し・早送りをするとき、画面が乱れることがあります。
- VCD、DVD ビデオや動画の記録された DVD オーディオ (AVTT : Audio Video Title) を早送りする場合、1段階目の速度のときの音声出力をオン/オフできます。2段階目以降は音声信号の出力は出ません。 → [49]

逆スロー再生・スロー再生をする

スチル中に ◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを押します。

- OSDを表示している場合は、**ON SCREEN** ボタンを押すとOSD表示がオフになり速度表示に切り換わります。
- ◀◀ ボタンまたは ▶▶ ボタンを1回押すと低速の逆スロー再生・スロー再生を続けます。押すたびに速度が上がり、全部で5段階の速度が選べます。また速度によりディスプレイの ◀◀ / ▶▶ インジケーターが点灯もしくは点滅します。



図のようにテレビ画面に速度表示し、逆スロー再生・スロー再生の速度に合わせて表示が変化します。

- 再生するディスクや本機の状態により、ディスプレイに、時間表示または、"**SLOW**" と表示します。

"**SLOW**" が表示されるとき：

時間表示をしないDVDを再生中に表示します
VCDのP.B.C.再生中に表示します

- 通常の再生に戻るときは本体の ▶/|| ボタンまたはリモコンの ▶ ボタンを押します。
- 逆スロー再生・スロー再生のときは音声は出ません。
- VCD は逆スロー再生はできません。
- CD (MP3) または、静止画像や音声のみの DVD オーディオ (AOTT : Audio Only Title) は逆スロー再生・スロー再生はできません。

DVD のメニュー再生をする

トップメニューあるいはメニューの記録された DVD を再生すると、トップメニュー画面またはメニュー画面を表示します。

対話方式を使って再生したいところを簡単に選ぶことができます。（以下の操作は基本的な操作です。再生ソフトにより操作が異なる場合があります。）

1. ^{トップメニュー} **TOP MENU/PBC** ボタンを押してトップメニュー画面を表示させます。

- 再生中にトップメニュー画面を表示させたとき、^{トップメニュー} **TOP MENU/PBC** ボタンをもう一度押すと、最初にボタンを押した場面まで戻り、そこから再生します。
- メニュー画面を表示させるときは ^{メニュー} **MENU** ボタンを押します。

2. リモコンのカーソルボタンを押して、再生したい場面を選びます。（数字ボタンで項目を選んだときは、手順 3 は必要ありません）

3. ^{エンター} **ENTER** ボタンを押すと選んだタイトルから再生します。

- 次々とメニューを表示するときは、手順 2 と手順 3 を繰り返します。メニューが階層構造のときは、1つ下の階層のメニューへ移動します。

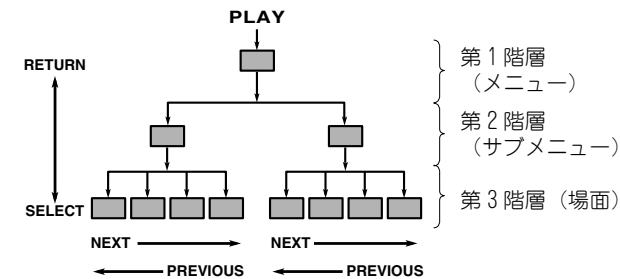
P.B.C.付きのVCDのメニュー再生をする

プレイバックコントロール (P.B.C.) 付きVCDをP.B.C.オンで再生するとメニュー画面を表示します。このときは、メニュー画面の手順に従って操作をしてください。（詳しい操作方法、操作ボタンは再生するソフトに付属の説明書をご覧ください）

VCDメニューの階層構造について

メニュー画面付きの P.B.C. 付き VCD を再生したとき、メニュー画面で項目を選ぶと、さらに詳細な項目のメニューが表示されることがあります。このように、いくつものメニューが階層的につながり、重なり合っている状態を階層構造といいます。繰り返しメニュー画面で項目を選んでいくことで、目的の場面に到達できます。

階層構造の一例



進むとき：^{エンター} **ENTER** (^{セレクト} **SELECT**) ボタン、または数字ボタンを使ってメニュー画面で項目を選ぶと、一つ下の階層のメニューへ進みます。進んだ先が、再生される「場面」のときは、その内容が再生されます。

戻るとき：^{リターン} **RETURN** ボタンを押すたびに、一つ上の階層へ戻っていきます。

- 各階層で選択可能なメニュー（場面）が複数ある場合は、^{プレビウス} **PREVIOUS** ボタンまたは ^{ネクスト} **NEXT** ボタンで画面の切り換えができます。

VCD 再生時に使われる主な操作ボタンと表示例

ソフトのジャケットの表示	本機の操作ボタン
^{セレクト} (SELECT)	^{エンター} ENTER ボタン
^{リターン} (RETURN)	^{リターン} RETURN ボタン
^{プレビウス} (PREVIOUS)	◀◀ ボタン
^{ネクスト} (NEXT)	▶▶ ボタン

- ジャケットの表示は、ソフトによって上記と異なるものもあります。

P.B.C. のオン/オフを切り換える

VCDをセットし、プレーヤーが停止しているときに、^{トップメニュー} **TOP MENU/PBC** ボタンを押して、P.B.C. のオン/オフを切り換えます。

P.B.C. オン：テレビに "**P.B.C. On**" と表示し、プレイバックコントロール付きのVCDをP.B.C.に従って再生します。またディスプレイの "**PBC**" インジケータが点灯します。

P.B.C. オフ：テレビに "**P.B.C. Off**" と表示し、プレイバックコントロール付きのVCDをP.B.C.をオフにして、通常の再生をします。またディスプレイの "**PBC**" が消灯します。

DVD オーディオのインデックスの飛び越しをする

DVD オーディオのトラックには、インデックスが記録されています。ボタンを操作すると現在再生中のトラックのインデックスを飛び越して次のインデックスを再生します。

再生中に ^{インデックス}INDEX ▼ ボタンまたは ^{インデックス}INDEX ▲ ボタンを押した回数分インデックスを飛び越します。

- 押した方向に飛び越して、選んだインデックスの最初から再生します。
- ディスプレイにインデックス番号を表示します。

DVD オーディオの静止画像を切り換える

静止画像の記録された DVD オーディオ (AOTT: ^{オーディオ}Audio ^{オンリー}Only ^{タイトル}Title) を再生すると、静止画像を表示します。(ディスクにより操作が制限されることがあります)

再生中に ^{ページ}PAGE ▼ ボタンまたは ^{ページ}PAGE ▲ ボタンを押すと静止画像を切り換えることができます。

- ^{リターン}RETURN ボタンを押すとホーム静止画像に切り換えることができます。

時間表示を切り換える

時間表示を切り換えることができます。

停止中、DVD のメニュー再生時や DVD ビデオで時間表示をしない物の場合はこの操作はできません。

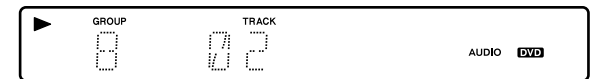
VCD で P.B.C. オンのときは、P.B.C. をオフにしてください。 → (25)

再生中に ^{ディスプレイ}DISPLAY ボタンを押すたびに、グループ、トラック、タイトル、チャプターまたはファイルのナンバー表示と時間表示に切り換わります。

時間表示



ナンバー表示



- MP3ディスクでは、ファイル名、フォルダ名、ファイルナンバー、再生経過時間に切り換わります。

リピート再生をする


お気に入りの映像や音声があれば、繰り返し再生することができます。(OSD の操作でリピート再生することもできます。→[33](#))


この機能はディスクによって使えない場合があります。VCD で P.B.C. オンのときは、P.B.C. をオフにしてください。→[25](#)


再生中に **REPEAT** ボタンを押すと、"**MAIN**" OSD を表示します。ボタンを押すたびにリピートアイコンの表示が切り換わります。

- 停止するとリピートは解除されます。
- 本機をリピートモードにすると、ディスプレイのリピートインジケータが点灯します。また、ディスプレイでリピートモードを数秒間表示します。


[DVD オーディオを再生中のとき]


 : 再生中のトラックをリピート再生します。
(インジケータ："REPEAT 1" 点灯)


 : 再生中のグループをリピート再生します。
(インジケータ："REPEAT" 点灯)

 : リピートをオフにします。


[DVD ビデオを再生中のとき]


 : 再生中のチャプターをリピート再生します。
(インジケータ："REPEAT 1" 点灯)


 : 再生中のタイトルをリピート再生します。
(インジケータ："REPEAT" 点灯)

 : リピートをオフにします。


[CD、VCD を再生中のとき]


 : 再生中のトラックをリピート再生します。
(インジケータ："REPEAT 1" 点灯)


 : 再生中のディスクをリピート再生します。
(インジケータ："REPEAT" 点灯)


 : リピートをオフにします。

[MP3ディスクを再生中のとき]


 : 再生中のファイルをリピート再生します。
(インジケータ："REPEAT 1" 点灯)


 : 再生中のフォルダーをリピート再生します。
(インジケータ："REPEAT" 点灯)

 : 再生中のディスクをリピート再生します。
(インジケータ："REPEAT" 点灯)

 : リピートをオフにします。


[プログラムモードのとき] →[40](#)

 : プログラムした内容をリピート再生します。
(インジケータ："PROG."、"REPEAT"点灯)

 : リピートをオフにします。


[ランダムモードのとき] →[41](#)

 : ランダムモードでリピート再生をします。
(インジケータ："RANDOM"、"REPEAT"点灯)

 : リピートをオフにします。

音声言語を切り換える


VCD や複数の音声言語が記録されている DVD は、音声言語を切り換えることができます。(OSD の操作で音声言語を切り換えることもできます → [35])

再生中に ^{オーディオ} AUDIO ボタンを押すと、^{サウンド} "SOUND" OSD を表示します。ボタンを押すたびに  (音声アイコン) の表示が切り換わります。

- DVD オーディオでは音声番号を、最大2種類の中から選ぶことができます。
- DVD ビデオでは音声番号を、最大8種類の中から選ぶことができます。
- VCD では ^{ステレオ} "STEREO"、"L"、"R"、"L+R" をそれぞれ選ぶことができます。
- 電源投入時、およびディスク交換時は、初期設定の言語になります。その言語がディスクにないときは、ディスクで決められている優先言語になります。
- 停止中は操作できません。また通常の音楽 CD (CD-R/RW)はこの操作はできません。

アングルを切り換える

複数のアングルが記録されている DVD は、アングルを切り換えることができます。(OSD の操作でアングルを切り換えることもできます → [37])

再生中に ^{アングル} ANGLE ボタンを押すと、^{ビジュアル} "VISUAL" OSD を表示します。ボタンを押すたびに  (アングルアイコン) の表示が切り換わります。

- DVD のアングル番号は最大9アングルの中から選ぶことができます。

第4章：OSD の操作

OSD (On Screen Display) を見ながら、各操作や設定が簡単にできる上に、リモコンの特定のボタンだけを使用しますので、難しいボタンの機能を覚える前に存分に本機の機能が楽しめます。

本章は以下の項目で構成されています。

OSD の基本操作 → [30](#)

メイン
"MAIN" OSD の操作 → [31](#)

サウンド
"SOUND" OSD の操作 → [35](#)

ビジュアル
"VISUAL" OSD の操作 → [36](#)

- ワイドテレビ等で、オンスクリーンメッセージや OSD の表示がテレビ画面からはみだしたときは、"**OSD 位置**" の設定で "シネマ" を選びます。 → [46](#)
- OSD の操作は、DVD のメニュー画面再生時にはできません。また、再生するディスクによっては操作できないときがあります。
- "サウンド" OSD、"ビジュアル" OSD は再生中にしか表示されません。

OSD の基本操作

テレビに表示される OSD のアイコンを、カーソルボタンで選ぶことで各種の操作が簡単に出来ます。

1. ON SCREEN ボタンを押すと OSD を表示します。

メイン "MAIN" OSD :



停止中は、"MAIN" OSDしか表示されません。（このときは、図の上下方向の矢印は表示しません）
ディスクを再生しているときは、カーソル上下ボタンを押して OSD を回転させ、他の OSD に切り換えることができます。

サウンド "SOUND" OSD :



ビジュアル "VISUAL" OSD :



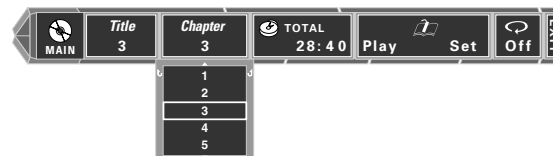
- ワイドテレビ等で、オンスクリーンメッセージや OSD の表示がテレビ画面からはみだしたときは、"OSD 位置" の設定で "シネマ" を選びます。 → 46

2. カーソル左／右ボタンを押して OSD アイコンを選び、ENTER ボタンを押してプルダウンメニューを表示させます。

- カーソルボタンを押すごとにカーソルが移動します。このとき、操作できないアイコンにカーソルを移動させることはできません。
- OSD には、様々な機能をもつアイコンが並んでいます。本機の状態や再生するディスクにより、表示されるアイコンは異なります。
- カーソルの位置が左右の端にあるときに、外側の方向にカーソル位置を移動させると、反対側に移動します。
- OSD の表示をやめるときは、EXIT アイコンにカーソルを合わせて ENTER ボタンを押します。（ON SCREEN ボタンでも操作できます）

3. 表示されたプルダウンメニューから、カーソル上／下ボタンを押して、目的の項目を選ぶが、0～9、+10 または +100 ボタンで数字を入力します。

プルダウンメニューの表示例：



数字を入力した時の表示例：



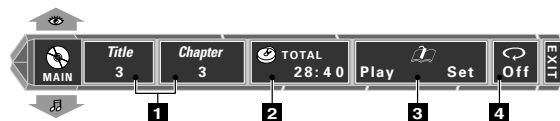
数字ボタンでグループ、タイトル、チャプターまたはトラック番号を入力するとプルダウンメニューの表示が切り換わり、入力した番号が点滅します。（右側の数字はディスクに収録されているチャプター数を表示しています）

数字入力を間違えたときは、CLEAR ボタンを押して、もう一度入力しなおしてください。

- プルダウンメニューの上下の端に、▲と▼が表示されているときは次画面があります。カーソルが下端にあるときに、カーソル下ボタンを押すと次画面に移動できます。（上端にカーソルがあるときは、カーソル上ボタンを押します）
- プルダウンメニューの左右の端の"U"と"J"は、カーソル左右ボタンを押すとプルダウンメニューが消え、元のアイコンにカーソルが移動できることを表します。（RETURN ボタンを押しても操作できます）
- 4. 確定するときには、ENTER ボタンを押します。
- OSD のアイコンの表示が変更内容に合わせて変化します。

メイン "MAIN" OSD の操作

"MAIN" OSDでの表示内容や操作できる項目は、以下の通りです。（なお、再生するディスクや本機の状態により、操作できない項目もあります）



1 グループアイコン：DVD オーディオのグループナンバーを表示します。

トラックアイコン：DVD オーディオや VCD、CD のトラックナンバーを表示します。

タイトルアイコン：DVD ビデオのタイトルナンバーを表示します。

チャプターアイコン：DVD ビデオのチャプターナンバーを表示します。

フォルダアイコン：MP3 ディスクのフォルダナンバーを表示します。

ファイルアイコン：MP3 ディスクのファイルナンバーを表示します。

これらを変更するときに選びます。

2 時間表示アイコン：時間表示をします。タイムサーチをするときや、時間表示の変更をするときに選びます。 →[23]

3 メモリープレイ/メモリーセットアイコン：メモリーの登録または、呼び出しをするときに選びます。 →[33]

4 リピートアイコン：リピートモードの表示をします。リピートモードを使うときに選びます。 →[33]→[34]

グループ、トラック、タイトル、チャプター、フォルダまたはファイルを選ぶ

OSDで、再生するグループ、トラック、タイトル、チャプター、フォルダまたはファイルを変えるときの操作です。

（数字ボタンや◀◀、▶▶ ボタンで直接操作することもできます →[23]）

P.B.C. 付き VCD でこの操作をするときは、P.B.C. をオフにしてください。 →[25]

- 再生中に **ON SCREEN** ボタンを押し "MAIN" OSD を表示させます。
- カーソル右、左ボタンを押しして "Group"、"Track"、"Title"、"Chapter"、"Folder"または"File" アイコンにカーソルを合わせ、**ENTER** ボタンを押します。

DVDオーディオ：**Group 3** または **Track 3** を選びます

DVDビデオ：**Title 3** または **Chapter 3** を選びます

CD、VCD：**Track 3** を選びます

MP3ディスク：**Folder 3** または **File 3** を選びます

- カーソル上/下ボタンを押しして番号を選び、**ENTER** ボタンを押し再生させます。



再生中は現在のグループ、トラック、タイトル、チャプター、フォルダあるいはファイル番号にカーソルを表示します。（図のときは、カーソル上ボタンを押すと最終番号を表示します）

数字ボタンで番号を指定することもできます。

- DVD の停止中は、タイトルまたはグループアイコンしか選べません。


時間表示の切り換えとタイムサーチ機能

OSD やディスプレイの時間表示を切り換えることができます。また、時間を入力して再生をはじめる場所を指定するタイムサーチ機能もあります。

停止中、DVD のメニュー再生時や DVD ビデオで時間表示をしない物の場合はタイムサーチはできません。

VCD の P.B.C. 再生中は、P.B.C. をオフにしてください。 → [25]

1. 再生中に **ON SCREEN** ボタンを押し"**MAIN**" OSD を表示させます。

2. カーソル右/左ボタンを押して、 (時間表示アイコン) にカーソルを合わせ、**ENTER** ボタンを押します。

3. カーソル上/下ボタンを押して、時間表示を選び、**ENTER** ボタンを押します。また、タイムサーチをするときは、タイムサーチでの時間入力にカーソルを合わせ手順 4 の操作を行います。



"**Time Search** -- : -- : --" : タイムサーチの時間入力ができます。(CD や VCD のときは "**Time Search** -- : --" を表示します)

"**Single Time**" : トラック、チャプターやファイルの経過時間

"**Single Remain Time**" : トラックやチャプターの残り時間

"**Total Time**" : ディスク、グループまたはタイトルの経過時間

"**Total Remain Time**" : ディスク、グループまたはタイトルの残り時間

● プログラムモード、ランダムモードでは、タイムサーチはできません。また時間表示は "**Single Time**"、"**Single Remain Time**" の切り換えができます。

● OSDの時間表示アイコンとディスプレイの時間表示が変更内容に従って切り換わります。

● MP3ファイルは、"**Single Time**" のみを表示します。

4. **0 ~ 9** ボタンで再生させる時間を入力し、**ENTER** ボタンを押します。

入力例：

1時間05分00秒 (DVD のとき)：

1、0、5、0、0

32分00秒 (CD、VCD のとき)：

3、2、0、0

1分28秒：

1、2、8

● 数字入力を間違えたときは、**CLEAR** ボタンを押して、もう1度入力しなおしてください。

● DVD オーディオのときはタイムサーチは同一グループの範囲内でのみ働きます。

● DVD ビデオのときはタイムサーチは同一タイトルの範囲内でのみ働きます。

● CDまたはVCDのときはタイムサーチは同一トラックの範囲内でのみ働きます。

● MP3ディスクのときは操作できません。

メモリー再生をする


再び見たい場面をメモリーしておく、見たいときにいつでもそこから再生を始められます。最大 10 場面まで選べます。

停止中、DVD のメニュー再生時や DVD ビデオで時間表示をしない物の場合はメモリーの登録や削除はできません。

VCD の P.B.C. 再生中は、P.B.C. をオフにしてください。 → [25]

この機能はディスクによって使えない場合があります。

メモリーを登録する

1. 再生中に **ON SCREEN** ボタンを押し "MAIN" OSD を表示させます。
2. カーソル左/右ボタンを押し、 (メモリーセットアイコン) にカーソルを合わせ、**ENTER** ボタンを押します。
3. 登録するメモリーをカーソル上/下ボタンを押し、メモリーしたい場面になったら **ENTER** ボタンを押します。


Ti/Grp/Trk	Time
1 1	0:08:28
2 --	--:--:--
3 --	--:--:--
4 --	--:--:--

メモリーの登録が済んでいるところは、タイトル、グループまたはトラック番号、時間を表示します。

メモリー番号の 5 以降は、次画面以降に表示します。

- 時間表示値は、同一グループ内の第 1 トラックの 0 秒からの積算時間を表示します。
- メモリーを削除するときは、メモリー番号を選びリモコンの **CLEAR** ボタンを押してください。
- メモリーは、最大で 10 場面登録できます。
- すでにメモリーが登録されている番号を選んだ場合は、メモリーが上書きされます。
- 電源をオフまたはスタンバイ状態にしたときや、トレイを開けたときにディスク交換位置にあるディスクのメモリーは消去されます。
- MP3 ディスクでは、この機能は働きません。


メモリーを呼び出す

1. **ON SCREEN** ボタンを押し "MAIN" OSD を表示させます。
2.  (メモリープレイアイコン) にカーソルを合わせ **ENTER** ボタンを押します。
3. カーソル上/下ボタンを押し、呼び出すメモリー番号を選び、**ENTER** ボタンを押します。

リピート再生をする

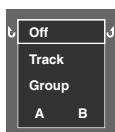
お気に入りの映像や音声があれば、繰り返し再生することができます。一部の DVD や VCD 等、収録内容の区切りとトラック番号 (曲番号) の間には関連がありません。このため再生するソフトによっては、この操作はできない場合があります。(REPEAT ボタンで直接操作することもできます → [27])

この機能はディスクによって使えない場合があります。VCD で P.B.C. オンのときは、P.B.C. をオフにしてください。 → [25]

1. 再生中に **ON SCREEN** ボタンを押し "MAIN" OSD を表示させます。
2. カーソル左/右ボタンを押し、 (リピートアイコン) にカーソルを合わせ、**ENTER** ボタンを押します。
3. カーソル上/下ボタンを押し、リピートモードを選び、**ENTER** ボタンを押します。

- 停止するとリピートは解除されます。
- リピートモードを変更すると、リピートアイコンが変更内容に合わせて変わります。本機をリピートモードにすると、ディスプレイのリピートインジケータが点灯します。また、ディスプレイでリピートモードを数秒間表示します。

[DVDオーディオを再生中のとき]



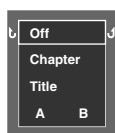
^{オフ}
"Off" : リピートをオフにします

^{トラック}
"Track" : 再生中のトラックをリピート再生します

^{グループ}
"Group" : 再生中のグループをリピート再生します

"A" : A-Bリピート再生するときに選びます

[DVDビデオを再生中のとき]



^{オフ}
"Off" : リピートをオフにします

^{チャプター}
"Chapter" : 再生中のチャプターをリピート再生します

^{タイトル}
"Title" : 再生中のタイトルをリピート再生します

"A" : A-Bリピート再生するときに選びます

[CD、VCDを再生中のとき]



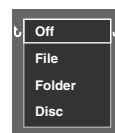
^{オフ}
"Off" : リピートをオフにします

^{トラック}
"Track" : 再生中のトラックをリピート再生します

^{ディスク}
"Disc" : 再生中のディスクをリピート再生します

"A" : A-Bリピート再生するときに選びます

[MP3 ディスクを再生中のとき]



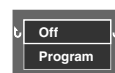
^{オフ}
"Off" : リピートをオフにします

^{ファイル}
"File" : 再生中のファイルをリピート再生します

^{フォルダ}
"Folder" : 再生中のフォルダーをリピート再生します

^{ディスク}
"Disc" : 再生中のディスクをリピート再生します

[プログラムモードのとき] →40



^{オフ}
"Off" : リピートをオフにします

^{プログラム}
"Program" : プログラムした内容をリピート再生します

[ランダムモードのとき] →41



^{オフ}
"Off" : リピートをオフにします

^{ランダム}
"Random" : ランダムモードでリピート再生をします

A-B リピート再生をする

再生しているときに、指定した区間を繰り返し再生します。
この機能はディスクによって使えない場合があります。

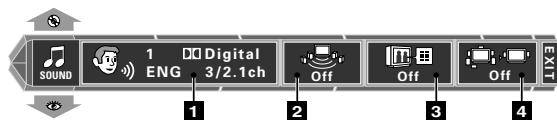
1. リピート再生の手順 2 までを行います。 →33
2. カーソル上/下ボタンを押して"A" を選び、^{エンター} ENTER ボタンを押すとリピートを始める A 点を記憶し、カーソル位置が "B" に移動します。
 - リピートアイコンが "A" に切り換わります。またディスプレイで "REPEAT"、"A - " ^{リピート} インジケーターが点灯します。
3. B 点を記憶させる場所になったら ^{エンター} ENTER ボタンを押します。

A 点から B 点の間を繰り返し再生をはじめます。

 - リピートアイコンが "A B" に切り換わります。また、ディスプレイで "REPEAT"、"A - B" ^{リピート} インジケーターが点灯します。
 - リピート再生をやめる場合は、^{オフ} "Off" (リピートオフ) を選んでください。
 - VCDのP.B.C.再生中や時間表示をしない DVD のときはディスクにより操作できない場合もあります。
 - プログラムモードのときは操作できません。
 - A-Bリピートは同一のグループの範囲内でのみ働きます。(DVD オーディオ)
 - A-Bリピートは同一のタイトルの範囲内でのみ働きます。(DVD ビデオ)
 - MP3 ディスクのときは操作できません。

サウンド "SOUND" OSDの操作

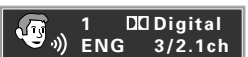
"SOUND" OSD で操作できる項目は、以下の通りです。（なお、再生するディスクや本機の状態により、操作できない項目もあります）



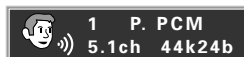
- 1 **音声アイコン**：音声信号、音声言語、チャンネル数を表示します。音声言語を切り換えるときに選びます。
- 2 **バーチャルサラウンドアイコン**：バーチャルサラウンドのレベルを表示します。レベルの調整やオフにするときに選びます。
- 3 **シネマボイスアイコン**：シネマボイスのオン／オフを表示します。オン／オフを切り換えるときに選びます。 → 36
- 4 **ダウンミックスアイコン**：ダウンミックスのオン／オフを表示します。オン／オフを切り換えるときに選びます。 → 36

音声言語を切り換える

VCD や複数の音声言語が記録されている DVD は、音声言語を切り換えることができます。（AUDIO ボタンで直接操作することもできます → 28）

1. DVD を再生中に **ON SCREEN** ボタンを押し、カーソル上／下ボタンを押し、"SOUND" OSD を表示させます。
2. カーソル左／右ボタンを押しして、
（音声アイコン）にカーソルを合わせ、**ENTER** ボタンを押しします。
3. カーソル上／下ボタンを押しして、音声番号を選び、**ENTER** ボタンを押しします。

- DVD オーディオでは音声番号を、最大2種類の中から選ぶことができます。




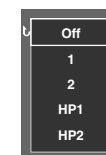
- DVD ビデオでは音声番号を、最大8種類の中から選ぶことができます。
- VCD では "STEREO"、"L"、"R"、"L+R" をそれぞれ選ぶことができます。
- 電源投入時、およびディスク交換時は、初期設定の言語になります。その言語がディスクにないときは、ディスクで決められている優先言語になります。

バーチャルサラウンド機能

接続したアンプまたはレシーバーで、お使いのスピーカーが2つのときやヘッドホンをお使いのときは、ドルビーデジタルサラウンドで収録された DVD を再生中に、迫力あるサラウンドをたのしむことができます。

この機能はディスクによって使えない場合があります。

1. DVD を再生中に **ON SCREEN** ボタンを押し、カーソル上／下ボタンを押し、"SOUND" OSD を表示させます。
2. カーソル左／右ボタンを押しして、
（バーチャルサラウンドアイコン）にカーソルを合わせ、**ENTER** ボタンを押しします。
 - 再生ソフトにドルビーデジタル（2ch以上）の音声記録されているときに機能します。
3. カーソル上／下ボタンを押しして、バーチャルサラウンド効果のレベルを選び、**ENTER** ボタンを押しします。




- 数字が大きくなるほど効果が強くなります。解除したいときは、"Off" を選んでください。
- ヘッドホンバーチャルサラウンドのレベルを選ぶときは、"HP1"または"HP2"を選びます。

シネマボイス機能

ドルビーデジタルサラウンド、ドルビーデジタル、DTSまたはDVD AUDIO LPCM で収録された DVD で、セリフが聞き取りにくいときなどに使います。

- デジタル出力端子を使用しているときは、"デジタル出力" の設定を "PCM" に設定する必要があります。 →[48](#)

1. DVD を再生中に **ON SCREEN** ボタンを押し、カーソル上/下ボタンを押して、"**SOUND**" OSD を表示させます。

2. カーソル左/右ボタンを押して、 (シネマボイスアイコン) にカーソルを合わせ、**ENTER** ボタンを押します。

- 再生ソフトがドルビーデジタルサラウンド、ドルビーデジタル、DTS または DVD AUDIO LPCM (センターチャンネルが記録されているとき) の音声^{オーディオ}が記録されているときにだけアイコンを選ぶことができます。


3. カーソル上/下ボタンを押して、オン/オフを選び、**ENTER** ボタンを押します。

ダウンミックス機能

多チャンネルの音声^{オーディオ}が記録された DVD ディスクのときに使える機能です。

多チャンネルを 2 チャンネルに変換し、**6HC. OUTPUT L/R** ^{アウトプット}端子から出力します。

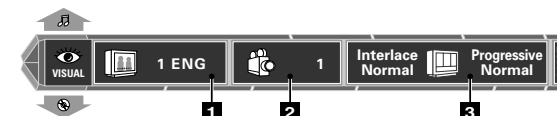
1. DVD を再生中に **ON SCREEN** ボタンを押し、カーソル上/下ボタンを押して、"**SOUND**" OSD を表示させます。

2. カーソル左/右ボタンを押して、 (ダウンミックスアイコン) にカーソルを合わせ、**ENTER** ボタンを押します。

3. カーソル上/下ボタンを押して、オン/オフを選び、**ENTER** ボタンを押します。

ビジュアル "VISUAL" OSDの操作

"VISUAL" OSD で操作できる項目は、以下の通りです。(なお、再生するディスクや本機の状態により、操作できない項目もあります)



1 字幕アイコン：字幕言語を表示します。字幕を切り換えるときに選びます。 →[37](#)

静止画像 (ASV ; Audio Still Video*) の記録されたDVD オーディオ (AOTT : Audio Only Title) を再生すると、字幕アイコンは静止画像の情報 (表示する時間、画像表示の順番など) を表示します。


* **ASV ; Audio Still Video** : AOTT (Audio Only Title) を再生したときに、同期して再生させることのできる静止画像のことです。

2 アングルアイコン：アングル番号を表示します。アングルを切り換えるときに選びます。 →[37](#)

3 画質調整アイコン：画質を表示します。画質を調整する時に選びます。 →[38](#)


字幕言語を切り換える

複数の字幕が記録されている DVD は、字幕言語を切り換えることができます。

1. DVD を再生中に **ON SCREEN** ボタンを押し、カーソル上/下ボタンを押して、"**VISUAL**" OSDを表示させます。
2. カーソル左/右ボタンを押して、 (字幕アイコン) にカーソルを合わせ、**ENTER** ボタンを押します。
3. カーソル上/下ボタンを押して、字幕番号を選び、**ENTER** ボタンを押します。
 - 字幕番号は最大32言語の中から選ぶことができます。
 - "Off" を選ぶと字幕を表示しません。また、希望の言語(字幕番号)がないときは、その言語がディスクに記録されていません。
 - 電源投入時や、ディスク交換時には、初期設定の言語になります。その言語がディスクにないときは、ディスクで決められている優先言語になります。

ID-3タグ情報の表示

ID-3タグ情報が記録されている MP3 は、タグ情報を表示します。


1. タグ情報が記録されている MP3 を再生中に **ON SCREEN** ボタンを押し、カーソル上/下ボタンを押して、"**VISUAL**" OSDを表示させます。
2. カーソル左/右ボタンを押して、 On (タグ情報アイコン) にカーソルを合わせ、**ENTER** ボタンを押します。

3. カーソル上/下ボタンを押して、オン/オフを選び、**ENTER** ボタンを押します。
 - MP3ディスクでは、テレビ画面にディスクに収録された情報(フォルダ名、ファイル名、タイトル名、アーティスト名、アルバム名)を表示します。

```
Folder : ROOT
File   : 01_SIMME.MP3
Title  : Simmer Down (at Studio One)
Artist : The Wailing Wailers
Album  : C.S.C Dot in Trench Town
```



アングルを切り換える

複数のアングルが記録されている DVD は、アングルを切り換えることができます。(ANGLE ボタンでアングルを直接操作することもできます。 → 28)

1. 再生中に **ON SCREEN** ボタンを押し、カーソル上/下ボタンを押して、"**VISUAL**" OSDを表示させます。
2. カーソル左/右ボタンを押して、 (アングルアイコン) にカーソルを合わせ、**ENTER** ボタンを押します。
3. カーソル上下ボタンを押して、アングル番号を選び、**ENTER** ボタンを押します。
 - DVD のアングル番号は最大9アングルの中から選ぶことができます。

ノイズリダクションを調整する

1. 再生中に **ON SCREEN** ボタンを押し、カーソル上/下ボタンを押して、"**VISUAL**" OSD を表示させます。

2. カーソル左/右ボタンを押して、 または  (画質調整アイコン) にカーソルを合わせ、**ENTER** ボタンを押します。
3. カーソル上/下ボタンを押して、"**Noise Reduction**" を選び、**ENTER** ボタンを押します。
(インターレースに設定しているとき → 38)

```
Noise Reduction
Normal
Fine
Soft
Cinema
```

(プログレッシブに設定しているとき → 38)

```
Noise Reduction
Normal
User Mode 1
User Mode 2
```

4. カーソル上/下ボタンを押して、設定項目を選び、**ENTER** ボタンを押します。

```
Noise Reduction
Mosquito NR Off
Block NR Off
3D NR Off
```

"Mosquito NR" : モスキートノイズを少なくします

"Block NR" : ブロックノイズを少なくします

"3D NR" : 画面全体のノイズを少なくします

5. カーソル上/下ボタンを押して、数値を選び、**ENTER** ボタンを押します。
 - 数値の調整に従って画質が変わります。手順 4 と手順 5 を繰り返して画質を設定します。

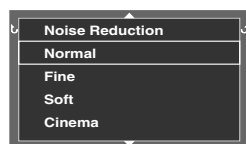
画質を調整する

本機側で画質を調整できます。（ご希望の画質がえられない場合はテレビの画質を調整してください）

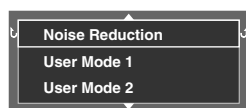
コンポーネントビデオアウトプットスイッチ：本体背面のコンポーネントビデオアウトプットスイッチの位置によって、スキャン方式が変わります。 → 12

インターレースに設定しているとき

- 再生中に **ON SCREEN** ボタンを押し、カーソル上／下ボタンを押して、"**VISUAL**" OSD を表示させます。
- カーソル左／右ボタンを押して、**Interlace Normal**（画質調整アイコン）にカーソルを合わせ、**ENTER** ボタンを押します。
- カーソル上下ボタンを押して、下記の中から画質を選び、**ENTER** ボタンを押します。

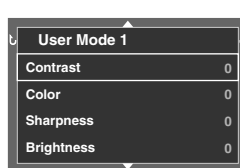


"**Normal**"：通常の画質で再生します
 "**Fine**"：輪郭を強調してクッキリとした画質になります
 "**Soft**"：ノイズの少ない柔らかな画質になります
 "**Cinema**"：映画館のスクリーンのイメージに近い画質になります



次画面の "**User Mode 1**" または "**User Mode 2**" を選ぶと、さらに詳細な設定ができます。このときは、引き続き手順 4 の操作をしてください

- カーソル上／下ボタンを押して、設定項目を選び、**ENTER** ボタンを押します。



"**Contrast**"：-7～+7の範囲で映像の明暗の差の調整をします
 "**Color**"：-7～+7の範囲で色の濃さの調整をします
 "**Sharpness**"：-2～+2の範囲で映像の輪郭を強調する度合いの調整をします
 "**Brightness**"：0～+15の範囲で映像の明るさの調整をします

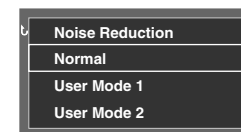


次画面には以下の設定項目があります
 "**GAMMA**"：-7～+7の範囲で接続したモニターのガンマ曲線に合わせて調整をします

- カーソル上／下ボタンを押して、数値を選び、**ENTER** ボタンを押します。
 - 数値の調整に従って画質が変わります。手順 4 と手順 5 を繰り返して画質を設定します。

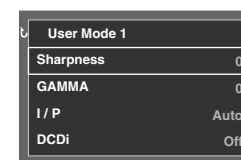
プログレッシブに設定しているとき

- 再生中に **ON SCREEN** ボタンを押し、カーソル上／下ボタンを押して、"**VISUAL**" OSD を表示させます。
- カーソル左／右ボタンを押して、**Progressive Normal**（画質調整アイコン）にカーソルを合わせ、**ENTER** ボタンを押します。
- カーソル上／下ボタンを押して、下記の中から画質を選び、**ENTER** ボタンを押します。



"**Normal**"：通常の画質で再生します
 "**User Mode 1**" または "**User Mode 2**" を選ぶと、さらに詳細な設定ができます。このときは、引き続き手順 4 の操作をしてください

- カーソル上／下ボタンを押して、設定項目を選び、**ENTER** ボタンを押します。



"**Sharpness**"：-2～+2の範囲で映像の輪郭を強調する度合いの調整をします
 "**GAMMA**"：-7～+7の範囲で接続したモニターのガンマ曲線に合わせて調整をします
 "**I/P**"：通常のビデオ映像信号（インターレース）をプログレッシブ出力（525P）テレビ映像信号に変換します。
 "**DCDi**"：斜の線などのジャギーを少なくします

- カーソル上／下ボタンを押して、数値を選び、**ENTER** ボタンを押します。
 - 数値の調整に従って画質が変わります。手順 4 と手順 5 を繰り返して画質を設定します。

第5章：応用的な操作

本章では、特殊再生の操作のしかたについて説明を行います。

本章は以下の項目で構成されています。

再生モードを切り換える → 40

プログラム再生をする → 40

ランダム再生をする → 41

MP3ディスクの操作 → 42

ボーナスグループについて → 42

再生モードを切り換える

本機には、通常の再生をするトラックモードの他に、プログラムモード、ランダムモードがあります。

再生モードを切り換えていろいろなディスク再生をお楽しみください。

プログラムモード：好きな曲を好きな順番にプログラムして聴くことができます。

ランダムモード：毎回曲がランダム（無作為）に選択されるので、飽きることなく楽しめます。 → [41](#)

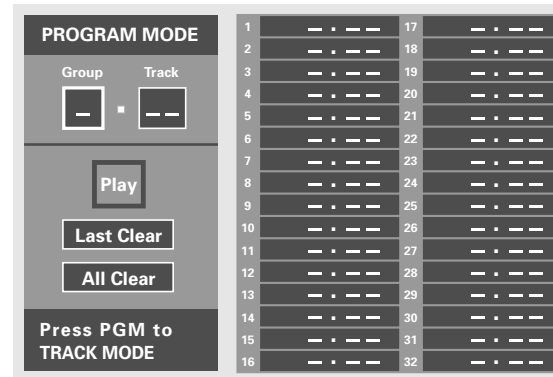
- この機能はディスクによって使えない場合があります。
- 再生するディスクや本機の状態により、一部操作が制限されている場合があります。
- P.B.C. 付き VCD で、P.B.C. がオンのときには、再生モードは切り換えることができません。再生モードを切り換える場合は、プレーヤーが停止しているときに、**TOP MENU/PBC** ボタンを押して P.B.C. をオフにしてください。 → [25](#)

プログラム再生をする

好きな曲を好きな順番にプログラムして聴くことができます。（DVDビデオ、MP3ディスクはプログラム再生することはできません）

プログラムの登録と再生


1. 停止中に **PGM** ボタンを押します。



- 本機がプログラムモードになると、図のような画面が表示されると同時に、ディスプレイの "**PROG.**" インジケータが点灯しプログラムモードに入ったことをお知らせします。
 - 新たにプログラムしたトラックは、現在のプログラムの最後に追加されます。
 - トレーを開けた状態でもプログラムは出来ませんが、実際にディスクに無いトラックのプログラムは再生されません。
2. DVD オーディオのときは **0~9** ボタンでグループを選びます。
 - グループ番号だけでもプログラムリストに登録できます。この場合は登録したグループの全曲を再生します。
 - 入力を間違えたときは **CLEAR** ボタンを押して、入力し直してください

3. **0~9** または **+10** ボタンでトラックを選びます。
4. **ENTER** ボタンを押すとプログラムリストに登録されます。
 - ここでの手順 **2. ~ 4.** を繰り返し、最大32曲をプログラムできます。
5. 画面の **Play** をカーソルボタンで選び、**ENTER** ボタンを押すとプログラム再生になります。
 - 再生中に、**◀◀** または **▶▶** ボタンを押すと、押した方向の曲を飛び越します。

プログラムを消去する

1. "プログラムの登録と再生"の手順1までを行います。 → 
2. 画面の **Last Clear** または **All Clear** にカーソルを合わせ、**ENTER** ボタンを押します。
 - "Last Clear" ^{ラスト クリアー} を選んだ場合は、操作するごとに、プログラムリストの最後にある設定を1つずつ消去します。(CLEAR ボタンを押してもプログラムを消去できません)
 - "All Clear" ^{オール クリアー} を選んだ場合は、プログラムリストすべての設定を消去します。
 - ディスクトレイを開けたときも、プログラムリストすべての設定を消去します。

プログラム再生を止める

"プログラムの登録と再生"の手順1までを行い、通常の再生モード（トラックモード）になるまで **PGM** ボタンを押します。

- "PROG." ^{プログラム} インジケーターが消灯します。

ランダム再生をする

毎回曲がランダム（無作為）に選択されるので、飽きることなく楽しめます。（DVD ビデオはランダム再生することはできません）

1. 停止中に **RANDOM** ^{ランダム} ボタンを押します。



- 本機がランダムモードになると、図のような画面が表示されると同時に、ディスプレイの "RANDOM" ^{ランダム} インジケーターが点灯しランダムモードに入ったことをお知らせします。
2. **ENTER** ^{エンター} ボタンを押すとランダム再生をはじめます。
 - ▶ ボタンを押してもランダム再生がはじまります。

ランダム再生を止める

"ランダム再生をする"の手順1までを行い、通常の再生モード（トラックモード）になるまで **RANDOM** ^{ランダム} ボタンを押します。

- "RANDOM" ^{ランダム} インジケーターが消灯します。

MP3ディスクの操作

ディスクがMP3の場合は、ファイルまたはフォルダを含んでいるフォルダのタイトル名をテレビ画面やディスプレイに表示し検索することができます。

1. ^{トップ}TOP ^{メニュー}MENU/PBC ボタンを押します。

- サーチ可能なフォルダ数、ファイル数は999 までです。ファイルまたはフォルダがこの数を超えるとサーチできません。
- ファイルサーチのときは、^{メニュー}MENU ボタンを押します。

2. カーソル上／下ボタンを押して聴きたいフォルダまたはファイルを選び、^{エンター}ENTER ボタンを押します。

- フォルダサーチのときは選んだフォルダの最小ファイルナンバーから再生がはじまります。
- ファイルサーチのときは選んだファイルから再生がはじまります。

ボーナスグループについて

DVD オーディオには通常のグループとは別に、ユーザーサービスとして、特定のグループのなかに、隠された情報が収録されているものがあります。このグループを選んだとき、パスワードの入力画面をテレビに表示して、ディスクにボーナスグループが収録されていることをお知らせします。パスワードを入力すると再生できます。（パスワードの入手については、ソフト制作会社にお問い合わせください。）



パスワードを **0** ～ **9** ボタンで入力し ^{エンター}ENTER ボタンを押すとボーナスグループの再生がはじまります。

第6章：各種設定

この章では、接続した機器に合わせて本機の設定を変更するときの操作を説明します。ここでの操作のほとんどは付属のリモコンで行います。

本章は以下の項目で構成されています。

設定画面の基本操作 → 44

メイン
"MAIN" の設定 → 45

サウンド
"SOUND" の設定 → 48

ビジュアル
"VISUAL" の設定 → 54

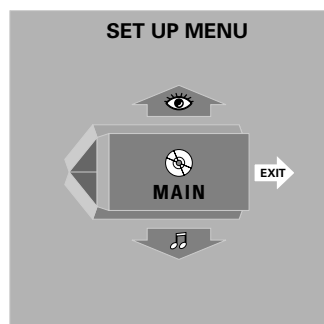
設定画面の基本操作

"SET UP MENU" には、"MAIN"、"SOUND" と "VISUAL" があります。表示される設定画面から、目的に合わせて各設定項目を選んでください。

設定を変更したあと、設定画面を表示したまま、電源をオフにするとその設定内容が無効となります。設定画面を閉じてから電源をオフにしてください。

操作手順

1. **SET UP** ボタンを押すと "SET UP MENU" が開き "MAIN" を表示します。



カーソル上/下ボタンを押して、"SOUND" や "VISUAL" に表示を切り換えることができます。

- "SET UP MENU" 画面表示中に、**RETURN** ボタンを押すか、"**EXIT**" の矢印の方向のカーソルボタンを押すと、設定モードをキャンセルできます。

2. **ENTER** を押して設定画面を開きます。
 - 設定画面表示中に、"**EXIT**" の矢印の方向のカーソルボタンを押すと、設定モードをキャンセルできます。また、"**MENU**" の方向のカーソルボタンを押すと、"**SET UP MENU**" に戻ります。
3. カーソルボタンを押して、設定項目を選び、**ENTER** ボタンを押して変更画面を開きます。
4. カーソルボタンを押して、設定を選び **ENTER** ボタンを押して確定します。
 - **RETURN** ボタンを押すか、カーソル左ボタンを押すと設定画面にもどります。

なお、実際の設定については、45 ページ以降を参照して操作してください。

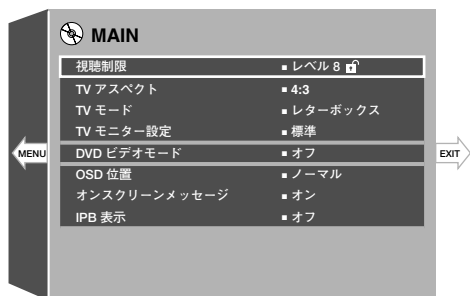
メイン "MAIN" の設定

セットアップ メニュー メイン
"SET UP MENU"で"MAIN"を選んだとき:

接続したテレビに合わせる設定や視聴制限、DVD ビデオモード、OSD位置、オンスクリーンメッセージ、IPB表示の設定を行います。

操作手順

1. プレーヤーが停止しているときに **SET UP** ボタンを押して、"SET UP MENU"の"MAIN"を表示させます。
2. **ENTER** ボタンを押して設定画面を開きます。



3. 設定画面の中から、カーソル上/下ボタンを押して、機能項目(右表参照)を選び、**ENTER** ボタンを押します。
4. カーソル上/下ボタンを押して、設定項目(右表参照)を選び、**ENTER** ボタンを押し確定します。

● "↶": 1つ前の画面に戻るときに選びます。

表: セットアップ メニュー メイン "SET UP MENU" の機能と設定 (1/2)

機能項目		設定項目		初期設定
アイコン	機能	アイコン	意味	
視聴制限	DVDビデオの視聴制限を設定します。(視聴制限に対応したDVDビデオのみ機能します。)	0 ~ 8 暗証番号変更 一時解除		8
TV アスペクト	接続したテレビのアスペクト比に合わせて設定します。	4 : 3		4 : 3
		16 : 9		
TV モード	通常のテレビ(アスペクト比4:3)でワイドスクリーンのソフトを再生するとき設定します。	パン & スキャン	ワイドスクリーンソフトをパン&スキャンで再生します。(両側または片側の切れた画面)パン&スキャン指定のないソフトは、レターボックスで再生します。	レターボックス
		レターボックス	ワイドスクリーンのソフトをレターボックスで再生します。(画面の上下に黒い帯が表示されます)	
TV モニター設定	接続したテレビやモニターの形式にあわせて設定します。	標準	ブラウン管式のテレビと接続するときを選んでください。通常はこの設定を選びます。	標準
		3管式プロジェクター	3管式フロントプロジェクターと接続するときを選んでください。	
		液晶プロジェクター	液晶フロントプロジェクターと接続するときを選んでください。	
		プロジェクションテレビ	プロジェクションテレビと接続するときを選んでください。	
		PDP	プラズマディスプレイパネルと接続するときを選んでください。	

操作手順

1. プレーヤーが停止しているときに **SET UP** ボタンを押し "SET UP MENU" の "MAIN" を表示させます。
2. **ENTER** ボタンを押して設定画面を開きます。



3. 設定画面の中から、カーソル上/下ボタンを押して、機能項目 (右表参照) を選び、**ENTER** ボタンを押します。
4. カーソル上/下ボタンを押して、設定項目 (右表参照) を選び、**ENTER** ボタンを押し確定します。

● "←" : 1つ前の画面に戻るときに選べます。

表: ^{セットアップ} ^{メニュー} ^{メイン} "SET UP MENU "MAIN" の機能と設定 (2/2)

機能項目		設定項目		初期設定
アイコン	機能	アイコン	意味	
DVD ビデオモード	DVD ディスクの再生モードを設定します。	オン	DVD ビデオ/オーディオの混在したディスクの DVD ビデオの部分を選択するときには選べます。	オフ*
		オフ	DVD ビデオ/オーディオの混在したディスクの DVD オーディオの部分を選択するときには選べます。	
OSD 位置	OSD (On Screen Display) の表示位置を設定します。	ノーマル	テレビ画面の上部に表示させます。通常はこの設定を選択します。	ノーマル
		シネマ	テレビ画面のやや下に表示させます。OSD やオンスクリーンメッセージがテレビ画面からはみだしてしまうときに選べます。	
オンスクリーンメッセージ	オンスクリーンメッセージ (早戻し・早送り/逆スロー再生・スロー再生/"Play"/"Pause"/"Still"などの表示) のオン/オフを切り換えます。	オン	オンスクリーンメッセージを表示させるときに選んでください。	オン
		オフ	オンスクリーンメッセージを表示させたくないときに選んでください。	
IPB 表示	IPB 表示のオン/オフを切り換えます。	オン	IPB 表示をするときに選べます。	オフ
		オフ	IPB 表示をしないときに選べます。	

* ディスクを換えたときや電源をオフにするまたはスタンバイ状態にすると初期値の "オフ" に設定が戻ります。

"視聴制限" の設定

お子様に見せたくない成人向けDVDビデオの再生を禁止することができます。ただし、ディスクのジャケットに"成人向け"と書かれていても、ディスクに視聴レベルが記録されていない場合があります。このときは視聴制限は働かず再生を禁止できません。

お買い上げいただいたときは、視聴制限がされていない"レベル8"に設定されています。また、はじめて視聴レベルを変更するときは暗証番号の登録をおこないます。

設定項目

"8 視聴制限なし": 成人向け、一般向け、子供向けなどすべてのDVDソフトを再生したいときに選びます。

"7" ~ "1": 制限レベルが記録されているDVDソフト(成人向けや暴力シーンをふくむもの)は、その制限レベルに応じて再生を制限します。

"0 すべて不可": すべてのDVDソフトの再生を禁止したいときに選びます。たとえば、視聴制限が記録されていない成人向けDVDソフトの再生を禁止したいときなど。

"暗証番号変更": 暗証番号を登録した後、視聴制限の暗証番号を変更するときに選びます。(暗証番号を登録していないときは選べません)

"一時解除": 暗証番号を登録した後、視聴制限を一時的にやめたいときに選びます。(暗証番号を登録していないときは選べません)

暗証番号を入力する

暗証番号を設定していないとき:

- ① 図のように暗証番号の入力画面を表示します。リモコンの数字ボタンで暗証番号を入力して **ENTER** ボタンを押してください。



- 画面の"↩"を選び **ENTER** ボタンを押すと設定画面にもどります。(RETURN ボタンを押しても操作できます)

- ② 暗証番号の入力画面が確認画面に切り換わり、ご自身で登録した暗証番号をテレビ画面に表示します。



- ③ 登録した暗証番号はメモを取り大切に保管してから **ENTER** ボタンを押してください。暗証番号は視聴制限の設定をする場合に必要となります。

暗証番号を設定してあるとき:

- ① 図のように暗証番号の入力画面を表示します。リモコンの数字ボタンで暗証番号を入力して **ENTER** ボタンを押してください。



- 画面の"↩"を選び **ENTER** ボタンを押すと設定画面にもどります。(RETURN ボタンを押しても操作できます)

"暗証番号変更"を選んだ場合はさらに、新しい暗証番号を入力する画面が開きます。数字ボタンで入力してから **ENTER** ボタンを押すと暗証番号の確認画面に切り換わります。メモを取り大切に保管してから **ENTER** ボタンを押してください。

サウンド "SOUND" の設定

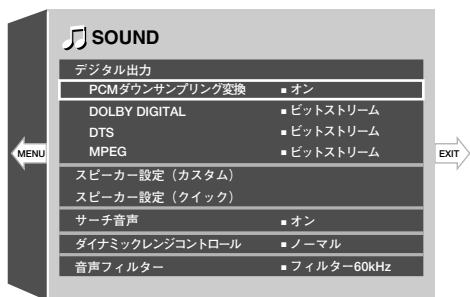
セットアップ メニュー サウンド
"SET UP MENU"で"SAUND"を選んだとき:

本機のデジタル音声出力端子を関連システム機器に接続したときの音声出力方式の設定をするときに選びます。

また本機の 6CH. ^{アウトプット}OUTPUT 端子を使って接続したときのスピーカー設定や、DVDやVCDのサーチ中の音声出力、ダイナミックレンジコントロール機能、音声フィルターの設定を行います。

操作手順

1. プレーヤーが停止しているときに ^{セットアップ}SET UP ボタンを押し、カーソル上、下ボタンを押して ^{セットアップ}"SET UP MENU"の ^{サウンド}"SOUND" を表示させます。
2. ^{エンター}ENTER ボタンを押して設定画面を開きます。



3. 設定画面の中から、カーソル上／下ボタンを押して、機能項目 (右表参照) を選び、^{エンター}ENTER ボタンを押します。
4. カーソル上／下ボタンを押して、設定項目 (右表参照) を選び、^{エンター}ENTER ボタンを押し確定します。

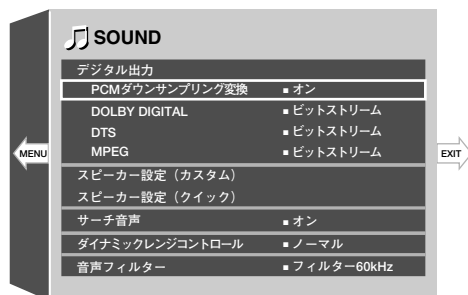
- "↶": 1つ前の画面に戻るときに選びます。

表: ^{セットアップ}SET UP MENU ^{メニュー}"SOUND" の機能と設定 (1/2)

機能項目		設定項目		初期設定
アイコン	機能	アイコン	意味	
デジタル出力 "PCMダウンサンプリング変換"	ハイサンプリングレートのデジタル信号出力のダウンサンプリング変換のオン/ オフを切り換えます。 ● DVD オーディオでは、常にダウンサンプリングコンバージョンをして出力されます。	オン	44.1 kHz/48 kHz/16 ビット PCM 信号にダウンコンバージョンします。アナログ信号出力も同様に変換されます。	オン
		オフ	ダウンコンバージョンをしません。 ● もしディスクが 96 kHz デジタル出力を禁止しているときは、信号は常にダウンコンバージョンする設定が選ばれます。	
デジタル出力 "DOLBY DIGITAL"	DOLBY DIGITAL 出力を設定します。	ビットストリーム	ビットストリーム信号	ビットストリーム
		PCM	48 kHz (2CH.) PCM 信号	
デジタル出力 "DTS"	DTS 出力を設定します	ビットストリーム	ビットストリーム信号	ビットストリーム
		PCM	48 kHz (2CH.) PCM 信号	
デジタル出力 "MPEG"	MPEG 出力を設定します。	ビットストリーム	ビットストリーム信号	ビットストリーム
		PCM	48 kHz (2CH.) PCM 信号	
スピーカー設定 (カスタム)	→ <u>50</u>			
スピーカー設定 (クイック)	→ <u>52</u>			

操作手順

1. プレーヤーが停止しているときに ^{セットアップ}SET UP ボタンを押し、カーソル上/下ボタンを押して "^{セットアップ}SET UP MENU" の "^{サウンド}SOUND" を表示させます。
2. ^{エンター}ENTER ボタンを押して設定画面を開きます。



3. 設定画面の中から、カーソル上/下ボタンを押して、機能項目 (右表参照) を選び、^{エンター}ENTER ボタンを押します。
4. カーソル上/下ボタンを押して、設定項目 (右表参照) を選び、^{エンター}ENTER ボタンを押し確定します。

- "↔": 1つ前の画面に戻るときに選びます。

表: ^{セットアップ}SETUP MENU ^{サウンド}"SOUND" の機能と設定 (2/2)

機能項目		設定項目		初期設定
アイコン	機能	アイコン	意味	
サーチ音声	サーチ中の音声のオン/オフを切り換えます。 ● 早送りの第1段階のときのみ音声を出力します。	オン		オン
		オフ		
ダイナミックレンジコントロール	ダイナミックレンジコントロール機能の切り換えをします。 最大音量と最小音量の差を圧縮し、小音量でのセリフを聴きやすくします。 ドルビーデジタル DVD のときのみ働きます。	ワイド	機能をオフにします。ディスクの音声レベルで再生します。	ノーマル
		ノーマル	低圧縮比で機能します。	
		ミッドナイト	高圧縮比で機能します。	
音声フィルター	接続したスピーカーを保護するための音声フィルターを設定します。	フィルター 60 kHz	お使いのスピーカーが高音域再生に適していないときに選びます。	フィルター 60 kHz
		フィルター 110kHz	お使いのスピーカーが高音域再生に適しているときに選びます。	

"スピーカー設定"

本機のスピーカー設定の方法は、2種類あります。

"スピーカー設定 (カスタム)"

通常の設定操作です。



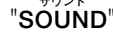



"スピーカー設定 (クイック)"

操作を簡素化した設定操作です。

"スピーカー設定 (カスタム)"

お買い上げいただいたときの各スピーカーの設定は、6チャンネル接続をすればすぐに再生できるように標準的なものに設定されています。ご自身の環境に合わせこれらの設定を調節してください。また設定をするときは、ご自身のセットのリスニングエリアで行ってください。

操作手順

1. プレーヤーが停止しているときに  ボタンを押し、カーソル上/下を押して  の  を表示させます。
2.  ボタンを押して設定画面を開きます。
3. セットアップメニュー  の中から、カーソル上/下ボタンを押して、"スピーカー設定 (カスタム)" を選び  ボタンを押します。

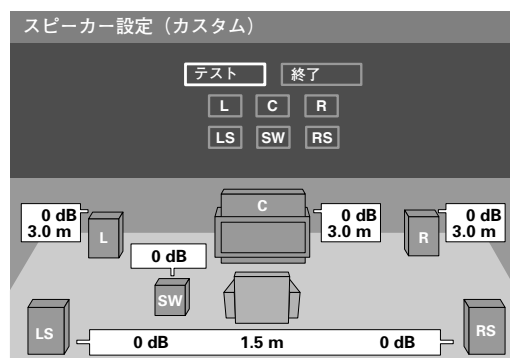


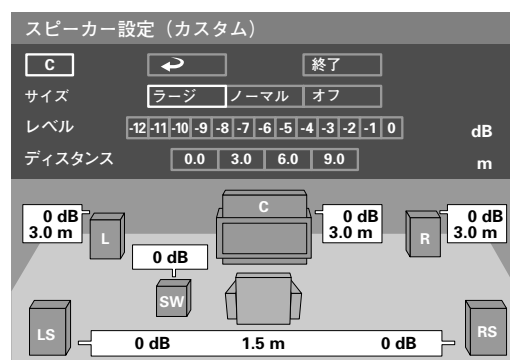
表: "スピーカー設定 (カスタム)" の機能と設定 (1/2)

スピーカー項目		機能項目		設定項目		初期設定
アイコン	スピーカー	アイコン	機能	アイコン	意味	
L、R	フロントスピーカー	サイズ	ローカットフィルター	ノーマル	接続したスピーカーが 100 Hz 以下を再生できない場合は "ノーマル" を選びます。	ラージ
				ラージ	接続したスピーカーが 100 Hz 以下を再生できる場合は "ラージ" を選びます。	
		レベル	音量レベルを設定	0 ~ -12 dB	—	0 dB
		ディスタンス		0.0/3.0/6.0/9.0	—	3.0 m
C	センタースピーカー	サイズ	センターチャンネル出力のオン/オフ ローカットフィルター	オフ	センタースピーカーを接続しないときは、"オフ" を選びます。	ラージ
				ノーマル	接続したスピーカーが 100 Hz 以下を再生できない場合は "ノーマル" を選びます。	
				ラージ	接続したスピーカーが 100 Hz 以下を再生できる場合は "ラージ" を選びます。	
		レベル	音量レベルを設定	0 ~ -12 dB	—	0 dB
ディスタンス		0.0/3.0/6.0/9.0	—	3.0 m		
LS、RS	サラウンドスピーカー	サイズ	サラウンドチャンネル出力のオン/オフ ローカットフィルター	オフ	サラウンドスピーカーを接続しないときは、"オフ" を選びます。	ラージ
				ノーマル	接続したスピーカーが 100 Hz 以下を再生できない場合は "ノーマル" を選びます。	
				ラージ	接続したスピーカーが 100 Hz 以下を再生できる場合は "ラージ" を選びます。	
		レベル	音量レベルを設定	0 ~ -12 dB	—	0 dB
ディスタンス		0.0/3.0/6.0/9.0	—	1.5 m		

4. スピーカー項目（右表参照）を選び、**ENTER** ボタンを押します。

機能項目（右表参照）から設定項目（右表参照）を選び、**ENTER** ボタンを押します。

- スピーカーの距離を設定するときは、カーソルを"0.0"～"9.0"までの近似の距離に合わせ、**ENTER** ボタンを押し、カーソル上/下ボタンで設定距離を調整します。距離の設定が終わったら **ENTER** ボタンを押します。



カーソルボタンを押しして"終了"を選び、**ENTER** ボタンを押します。

5. 必要に応じて手順 4 を繰り返します。
6. カーソルボタンを押しして"終了"を選び、**ENTER** ボタンを押します。

表: "スピーカー設定 (カスタム)" の機能と設定 (2/2)

スピーカー項目		機能項目		設定項目		初期設定
アイコン	スピーカー	アイコン	機能	アイコン	意味	
SW	サブウーファー	サイズ	サブウーファーチャンネル出力のオン/オフ	オフ	サブウーファーを接続しないときは、"オフ"を選びます。	オン
		レベル	音量レベルを調整	オン	—	
				0 ~ -12 dB	—	0 dB

- AVアンプとデジタル接続したときのスピーカー設定についてはAVアンプに付属の取扱説明書をお読みください。
- スピーカーレベルの調整について
スピーカーを設置したときは、テストトーンを使って調整することをおすすめします。 → 52
- "←": 1つ前の画面に戻るときに選びます。

テストトーンによるスピーカーレベルの調整

操作手順

1. "スピーカー設定 (カスタム)"

の手順 1 ~ 3 を行います。 → [50](#)

2. カーソルボタンを押して "テスト" を選び、^{エンター}ENTER ボタンを押します。

- テストトーン信号が、Lチャンネルから始まってサラウンドLチャンネルまで、順々に一定時間づつ出力されます。
- テストトーン信号が出ているスピーカーが、画面上のカーソル位置で表示されます。

3. 設定したいスピーカーにカーソルが移動してきたときに^{エンター}ENTER ボタンを押します。4. カーソル右/左ボタンを押して、設定したいレベル値を選び、^{エンター}ENTER ボタンを押します。

- 各スピーカーが同じレベルで聞こえるように調整します。

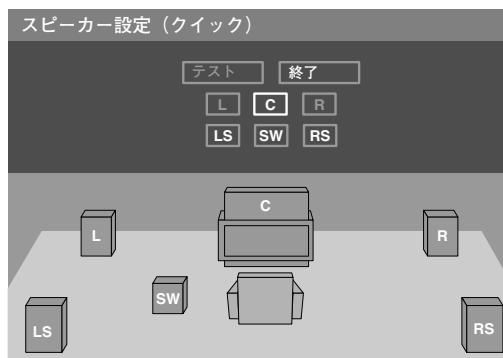
5. カーソルボタンを押して "終了" を選び、^{エンター}ENTER ボタンを押します。

"スピーカー設定 (クイック)"

- AVアンプとデジタル接続したときのスピーカー設定についてはAVアンプに付属の取扱説明書をお読みください。
- 設定するスピーカーは、"C" (センタースピーカー)、"LS/RS" (サラウンドスピーカー) と "SW" (サブウーファー) の3種類を設定します。

操作手順

1. プレーヤーが停止しているときに^{セットアップ}SET UP ボタンを押し、カーソル上、下ボタンを押して"^{セットアップ}SET UP MENU" の"^{サウンド}SOUND" を表示させます。
2. ^{エンター}ENTER ボタンを押して設定画面を開きます。
3. 設定画面の中から、カーソル上/下ボタンを押して、"スピーカー設定 (クイック)" を選び^{エンター}ENTER ボタンを押します。



4. スピーカー名にカーソルを合わせ、使用するまたは使用しないを設定し、^{エンター}ENTER ボタンを押します。
 - 画面下半分にある、グラフィックルームにあるスピーカーアイコンが、^{エンター}ENTER ボタンを押すたびに表示したり消えたりします。使用する場合はスピーカーアイコンが表示するようにします。
5. 他のスピーカーを設定するときは、手順 4 を繰り返して設定します。
6. 設定が終了したら、カーソルを"終了"に合わせて、^{エンター}ENTER ボタンを押します。

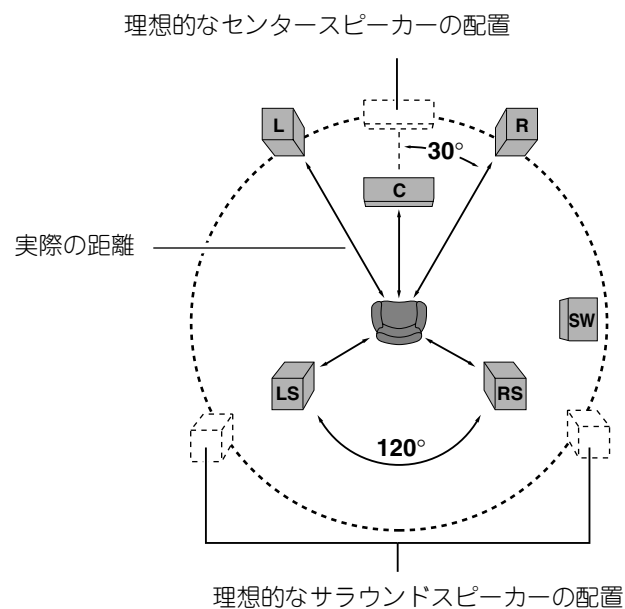
ディスタンス設定について

ドルビーデジタル DVD のセンター/サラウンドは、視聴位置と、サブウーファーを除くすべてのスピーカーの位置が同じであることが理想です。

本機では視聴位置から各スピーカーまでの距離をそれぞれ設定すると、自動的にディレイタイムが調整されます。本機のアナログ6ch.出力を使用したときのみ設定が働きます。(ドルビーデジタル以外は調整できません)

- ディレイタイムは、スピーカーから出る時間を遅らせることで、距離のずれを補正し、全スピーカーの音が同じタイミングで視聴位置まで届くようにします。

スピーカーを設定する前に、あらかじめ各スピーカーの距離を調べてください。



ビジュアル

"VISUAL"の設定

セットアップ メニュー ビジュアル
 "SET UP MENU"で"VISUAL"を選んだとき:

本機のメニュー画面の表示言語やディスクのメニュー画面の表示言語、音声言語、字幕言語などを変更する場合があります。

またスチルモードの設定を行います。

操作手順

1. プレーヤーが停止しているときに **SET UP** ボタンを押し、カーソル上/下ボタンを押して **"SET UP MENU"** の **"VISUAL"** を表示させます。
2. **ENTER** ボタンを押して設定画面を開きます。



3. 設定画面の中から、カーソル上/下ボタンを押して、機能項目 (右表参照) を選び、**ENTER** ボタンを押します。
4. カーソル上/下ボタンを押して、設定項目 (右表参照) を選び、**ENTER** ボタンを押し確定します。

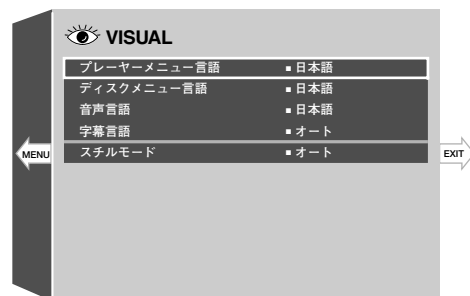
- "←": 1つ前の画面に戻るときに選べます。

表: セットアップ メニュー ビジュアル "SET UP MENU" の機能と設定 (1/3)

機能項目		設定項目		初期設定
アイコン	機能	アイコン	意味	
プレーヤーメニュー言語	本機のメニュー画面などの表示言語を設定します。	英語		日本語
		フランス語		
		スペイン語		
		ドイツ語		
		イタリア語		
		日本語		
		簡体字中国語		
繁体字中国語				
ディスクメニュー言語	ディスクのメニュー画面の表示言語を設定します。	英語		日本語
		日本語		
		その他		
音声言語	ディスクの音声言語を設定します。	オリジナル	ディスク側での優先言語で再生するときを選びます	日本語
		英語		
		日本語		
		その他	"ディスクの言語コード表"のコード番号で言語を指定するときを選びます。 → [57]	

操作手順

1. プレーヤーが停止しているときに **SET UP** ボタンを押し、カーソル上/下ボタンを押して "SET UP MENU" の "VISUAL" を表示させます。
2. **ENTER** ボタンを押して設定画面を開きます。



3. 設定画面の中から、カーソル上/下ボタンを押して、機能項目 (右表参照) を選び、**ENTER** ボタンを押します。
4. カーソル上/下ボタンを押して、設定項目 (右表参照) を選び、**ENTER** ボタンを押して確定します。

- "↔" : 1つ前の画面に戻るときに選びます。

表: セットアップメニュー "VISUAL" の機能と設定 (2/3)

機能項目		設定項目		初期設定
アイコン	機能	アイコン	意味	
字幕言語	ディスクの字幕言語を設定します。	オート	"音声言語"の設定に応じて、字幕言語を自動設定します。	オート
		英語		
		日本語		
		その他	"ディスクの言語コード表"のコード番号で言語を指定するときを選びます。 → 57	
スチルモード	スチル画像のプレを押さえるときに選びます。	オート	フレームスチルまたはフィールドスチルを自動的に切り換えます。通常はこの設定を選びます。	オート
		フレーム	フレームスチル画像。"オート"では小さな文字やパターンがハッキリと見えないときに選びます。	
		フィールド	フィールドスチル画像。"オート"ではスチル画像にプレが発生するときを選びます。	

ディスクの言語コード表

コード番号: 言語
6565: アファル
6566: アプハシア
6570: アフリカーンス
6577: アムハラ
6582: アラビア
6583: アッサム
6588: アイマラ
6590: アゼルバイジャン
6665: パシキール
6669: ベルロシア (白ロシア)
6671: ブルガリア
6672: ビハール
6678: ベンガル (バングラ)
6679: チベット
6682: ブルターニュ
6765: カタロニア
6779: コルシカ
6783: チェコ
6789: ウェールズ
6865: デンマーク
6869: ドイツ
6890: ブータン
6976: ギリシャ
6978: 英語
6979: エスペラント
6983: スペイン
6984: エストニア
6985: バスク
7065: ペルシャ
7073: フィンランド
7074: フィジー
7079: フェロー
7082: フランス

コード番号: 言語
7089: フリジア
7165: アイルランド
7168: スコットランド (ゲール)
7176: ガリチア
7178: グアラニー
7185: グジャラト
7265: ハウサ
7273: ヒンディー
7282: クロアチア
7285: ハンガリー
7289: アルメニア
7365: インターリングア
7378: インドネシア
7383: アイスランド
7384: イタリア
7387: ヘブライ
7465: 日本語
7473: イディッシュ
7487: ジャワ
7565: グルジア
7575: カザフ
7576: グリーンランド
7577: カンボジア
7578: カンナダ
7579: 韓国 (朝鮮) 語
7583: カシミール
7585: クルド
7589: キルギス
7665: ラテン
7678: リンガラ
7679: ラオ
7684: リトアニア
7686: ラトビア (レット)

コード番号: 言語
7771: マダガスカル
7773: マオリ
7775: マケドニア
7776: マラヤーラム
7778: モンゴル
7779: モルダビア
7782: マラッタ
7783: マライ (マレー)
7784: マルタ
7789: ビルマ
7865: ナウル
7869: ネパール
7876: オランダ
7879: ノルウェー
7982: オーリャ
8065: パンジャブ
8076: ポーランド
8083: パトシュ
8084: ポルトガル
8185: ケチュア
8277: レトロマンズ
8279: ルーマニア
8285: ロシア
8365: サンスクリット
8368: シンド
8372: セルボクロアチア
8373: シンハラ
8375: スロバキア
8376: スロベニア
8377: サモア
8378: ショナ
8379: ソマリ
8381: アルバニア

コード番号: 言語
8382: セルビア
8385: スンダ
8386: スウェーデン
8387: スワヒリ
8465: タミル
8469: テルグ
8471: タジク
8472: タイ
8473: ティグリニア
8475: トルクメン
8476: タガログ
8479: トンガ
8482: トルコ
8484: タタール
8487: トウイ
8575: ウクライナ
8582: ウルドゥー
8590: ウズベク
8673: ベトナム
8679: ヴォラピュック
8779: ウォロフ
8872: コーサ
8979: ヨルバ
9072: 中国語
9085: ズールー

第7章：その他

知っておきましょう → [59](#)

故障かな?と思ったら → [61](#)

用語の解説 → [63](#)

保証とアフターサービス（よくお読みください） → [65](#)

ケンウッド全国サービス網 → [66](#)

定格 → [68](#)

知っておきましょう

お手入れのしかた

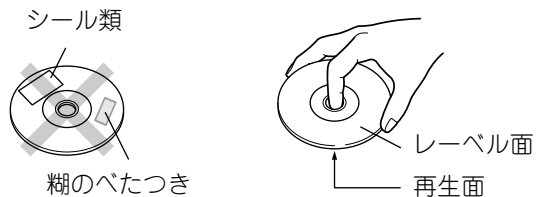
前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

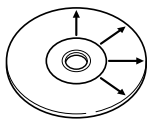
ディスクの取り扱いかた

ディスク取扱上のご注意：再生面にふれないように持ってください。



再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

お手入れ：ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。



保存：長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

異常なディスクは使用しない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。

円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

CD-R/CD-RWディスクについて

レーベル面に印刷可能なCD-R/CD-RWを使用すると、レーベル面が貼り付いてディスクの取り出しができないことがあります。

本機の故障の原因となるため、このようなディスクは使用しないでください。

ディスクアクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、保護リングなど）およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて

図の様にクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。



シールから糊がはみ出したり金属板が貼られている場合があります。ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。

シール類をはがした後、糊がレーベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のべたつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

マイコンの誤動作について

正しく接続したのに操作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をするなど、誤動作をしたときは以下の手順をお試しください。マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

1. 本機をオフにします。
2. 本体の **■** ボタンを押しながら本体の **POWER ON/OFF** ボタンを押します。（本体ディスプレイに"**KENWOOD**"と表示するまで、**■** ボタンを押しつづけてください。）
3. 本体のディスプレイに"**INIT ING**"を表示したのち、"**INIT OK**"と表示されマイコンがリセットされます。
4. 本体の **POWER ON/OFF** ボタンを押して電源を切り、もう一度押して電源を入れます。
 - リセットにより、各種の設定内容は消滅し、工場出荷時の状態になりますので、プレーヤーの各種設定をもう一度やり直してください。ご了承ください。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときには、ディスクを入れないで下記の操作を行ってください。

1. 本機をオンにします。
2. プレーヤーにディスクが残っている場合は、すべてのディスクを取り出します。
3. 数秒間待って、ディスプレイに「**NO DISC**」と表示されたこと確かめてください。
4. 本体の **POWER ON/OFF** ボタンを押してオフにします。

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴（露）が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。

このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

本機は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭およびそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

本機は、すべての高解像度テレビと互換性があるというわけではないことをご了承ください。そのため、画像がみだれて表示されることがあります。

プログレッシブスキャン（525p順次走査）再生時に問題がありましたら、映像の出力形式を、通常解像度側に切り替えることをお勧めします。

525p DVDプレーヤーとの接続について、ご不明な点は、最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。



DOLBY DIGITAL ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、MLP Lossless 及びダブルD 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



DIGITAL dts SURROUND 「DTS」及び「DTS Digital Surround」はデジタルサラウンドターンステムズの登録商標です。

ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

故障かな？と思ったら

再生がはじまっても、映像が出ない。

- TVやAVアンプなどの入力切換えが合っていない、または電源が入っていない。
- 接続コード類が正しく接続されていない。 → [12] → [14]

再生がはじまっても、音が出ない。

- "スピーカー設定" が合っていない。 → [50]
- TVやAVアンプなどの入力切換えが合っていない、または電源が入っていない。
- TVやAVアンプなどの音量調整がされていない。
- 音声出力コードが正しく接続されていない。 → [12] → [14]

早送り・早戻しで画像が乱れる。

- 早送り、早戻し時は、多少画面が乱れます。故障ではありません。

きれいに映らない、画質／音質がよくない。

- 接続コード類が正しく接続されていない。 → [12] → [14]
- 雑音源と思われる機器が、そばにある。
- ディスクに汚れやキズがついている。汚れは拭き取り、ディスクはキズをつけないように大切に扱ってください。 → [59]
- 光学レンズが結露している場合があります。このようなときには、本機の電源を入れた状態で、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。 → [60]

再生がはじまるまでに時間がかかる。

- ディスクの種類を検出、モーターの回転を安定させるため、故障ではありません。

テレビ画面に警告が表示され再生ができない。

- ディスク表面に指紋や汚れがついていると再生映像が乱れたり音飛びをする場合があります。やわらかい布などで、汚れを放射状にふきとってください。 → [59]
- ディスクを斜めに置いたり、重ねて置いているときは、ディスクを正しく入れ直してください。 → [22]
- 視聴制限または、リージョンコードにより再生できない。 → [8] → [47]

画面の上下が欠ける。

- 再生したいディスクのビデオフォーマットと接続したテレビのビデオフォーマットが合っていない。 → [9]

VCDのメニュー再生ができない。

- P.B.C. をオフにしているときはメニュー再生できません。 → [25]
- プレイバックコントロール付きのVCD以外は、メニュー再生できません。 → [25]

字幕がでない。

- 字幕の入っていない DVD ディスクは字幕が表示されません。
- 字幕言語の切り換えが "Off" になっている。 → [37] → [55]

音声（または字幕）言語が切り換えられない。

- 複数の音声（または字幕）言語の入っていないDVDディスクは、言語を切り換えられません。 → [28] → [35] → [37] → [54] → [55]

アングルが切り換えられない。

- 複数のアングルの入っていないDVDディスクは、アングルを切り換えられません。またアングルの記録されていない部分では、アングルを切り換えられません。 → [28] → [37]

視聴制限^{レーティング} (Rating) が変更できない。

- パスワードを紛失してしまった場合は、以下の手順で初期設定の内容を工場出荷状態に戻してください。
本体の ■ ボタンを押しながら本体の ^{パワー}POWER ^{オン}ON/^{オフ}OFF ボタンを押します。ディスプレイに ^{イニシャライズ}"INIT OK" と表示されたから電源を入れ直してください。 → [59]

設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。

- 再生しようとしているDVDディスクに、初期設定で選んだ言語が入っていないときは、ディスクの優先言語が選ばれます。 → [54] → [55]

ボタン操作をしたときにテレビ画面にメッセージがない。

- "オンスクリーンメッセージ" が "オフ" になっている場合は、"オン" にします。 → [46]

希望の言語でメニュー画面のメッセージがでない。

- 再生しようとしているDVDディスクに、初期設定で選んだ言語が入っていないときは、ディスクの優先言語が選ばれます。 → [54]

リモコンで操作できない。

- 電池が切れている。
- 操作する位置が遠すぎたり、角度がずれてる。または障害物がある。 → [11]

禁止アイコンが表示され、操作を受け付けない。


- DVDやVCDは、ソフト制作者の意図により、操作が制限されていることがありますのでソフトに従った操作をしてください。また本機の状態により操作が制限されている場合もあります。

DVDを再生中に停止ボタンを押しても止まらない。

- 再生するDVDによっては ■ ボタンを押しても禁止アイコンが表示され停止しないことがあります。
この場合は、▲ ボタンを押してトレイを開けます。

ディスプレイに "LOCKED" と表示され操作を受け付けない。

- ディスプレイに "LOCKED" と表示され、ディスクトレイが開かずオープン/クローズ操作を受け付けない場合は以下の操作を行ってください。

本体の ■ ボタンを押しながら、リモコンの POWER  を押します。

MP3 ディスクが再生できない。

- MP3 ディスクによっては再生できない場合があります。

タイトル表示に不正確な文字が表示される。

- パソコンなどで作成したディスクによっては、表示文字が不正確になる場合があります。

用語の解説

DVD (Digital Versatile Disc) デジタル パーサタイル ディスク：DVDビデオは、映画ソフトなど映像と音声を大きな記録容量とデジタル信号処理が可能にした高画質・高音質パッケージメディアなどが収録されているディスクです。DVDオーディオでは、さらにハイビット・ハイサンプリングの高音質を楽しむことができます。

ビデオCD (VCD)：動画の収録されているCDです。画像情報を約1/120に、音声情報を約1/6に圧縮することにより、一般の音楽用CDと同じ直径12cmのディスクに、動画および音声を最大約74分間収録できます。

単に再生だけが可能なP.B.C.なしのディスク(バージョン1.1)と、メニューや各種の特殊再生(プレイバックコントロール)が可能な、P.B.C.付き(バージョン2.0)に対応しています。

MPEG (Moving Picture Expert Group) ムービング ピクチャー エキスパート グループ (DVD、VCD)：デジタル画像および音声の圧縮と、復元の国際標準規格とされている方式のことをいいます。

デコーダー：DVDなどに符号化して記録した音声データを通常の音声信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

ダウンミックス：DVD、DTS-CDのマルチチャンネルの音声信号を2チャンネルに集約して変換することをいいます。

サンプリング周波数：サンプリングとは、デジタル信号を作るためアナログ信号を一定の時間で細かく刻み、1つ1つの波の高さを数値化すること。1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、これが多い程、原音を忠実に再現できます。

量子化ビット数：量子化ビット数とは、デジタル信号を作るためアナログ信号を一定の時間で細かく刻み、1つ1つの波の高さを数値化するときの数値のことをいいます。これが多い程、原音を精密に再現できます。

リニアPCM (Pulse Code Modulation) パルス コード モジュレーション：圧縮処理を用いない音声信号のこと。DVDではディスク容量が格段に多くなり、サンプリング周波数の高いリニアPCM信号を収録できます。

Packed PCM パックド：容量の大きいハイサンプリング周波数のリニアPCM信号を圧縮したものを、パックドPCM (P.PCM)といいます。圧縮前の信号を完全に復元することができます。

Bitstream (DVD) ビットストリーム：ドルビーデジタル、DTS、MPEGなどのいろいろな規格に従ったデータの流れの総称をBitstreamといいます。

ドルビーデジタル：ドルビー社が開発したデジタル音声の圧縮技術です。ステレオ(2ch)はもちろん、5.1chのサラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率良くディスクに収めることができます。

DTS デジタル シアター システム：Digital Theater Systems, Incが開発したデジタルサラウンド方式です。

タイトル/タイトル番号 (DVDビデオ)：タイトルとはDVDビデオに記録されている映像や曲の一番大きい単位をいいます。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚(あるいは1曲)に相当します。それぞれのタイトルに順番につけられた番号をタイトル番号といいます。

チャプター/チャプター番号 (DVDビデオ)：DVDビデオに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルより小さい単位をチャプターといいます。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成されています。それぞれのチャプターに順番につけられた番号をチャプター番号といいます。

グループ/グループ番号 (DVDオーディオ)：グループとはDVDオーディオに記録されている曲の一番大きい単位をいいます。通常はアルバム1枚に相当します。それぞれのグループに順番につけられた番号をグループ番号といいます。

トラック/トラック番号 (DVDオーディオ、VCD、CD)：トラックとはディスクに記録されている内容の区切り(「曲」や「章」など)のことです。この区切りには番号が割り当てられ、この番号をトラック番号といいます。DVDオーディオでは1曲、一般の音楽用CDでは1曲に1トラックが割り当てられる場合がほとんどですが、VCDの場合、内容的な区切りとトラック番号は、必ずしも対応関係にありません。曲の飛び越しやプログラムなど、音楽用CDで行われる再生は、すべてトラック番号の情報に基づいているため、VCDではこのような再生が不可能な場合があります。

AVTT (Audio Video Title) オーディオ ビデオ タイトル (DVDオーディオ)：DVDオーディオの動画を含む部分をいいます。音声、字幕またはアングルを切り換えることができます。

AOTT (Audio Only Title) オーディオ オンリー タイトル (DVDオーディオ)：DVDオーディオの音声と静止画像の部分をいいます。音声や静止画像を切り換えることができます。

字幕言語 (DVD) : DVDディスクによっては複数の字幕言語が記録されているものがあります。本機では再生中、記録されている字幕言語を自由に選ぶことができます。

アングル (DVD) : DVDディスクによっては複数のアングルが記録されているものがあります。本機では再生中、記録されているアングルを自由に切り換えることができます。

音声言語 (DVD) : DVDディスクによっては複数の音声言語が記録されているものがあります。本機では再生中、記録されている音声言語を自由に切り換えることができます。

アスペクト比 : テレビ画面に表示される映像の縦横比をいいます。通常のテレビの横：縦の比率は4:3、ワイドテレビは16:9の比率を持っています。

パン&スキャン (DVD) : アスペクト比16:9で記録された横長の映像を4:3のテレビ画面に映し出すために、画面の一部を切り取り表示し、トリミングすることをいいます。

一般にこのパン&スキャンの切り取り位置は、再生する機器によって一様に定められますが、DVDディスクはこの位置を、ソフト制作者が指定し記録することができます。

レターボックス (DVD) : アスペクト比16:9で記録された横長の映像を4:3のテレビ画面に映し出すために、画面の上下に黒などの帯を付け、画面中央部にこの横長映像を映し出すことをいいます。

フレーム (DVD、VCD) : 動画の1コマ1コマのこと。テレビでは、1秒間にNTSC方式では30コマ、PAL方式では25コマの静止画像を連続して映し出すことで、動きのある映像を作っています。

フィールド (DVD、VCD) : 1フレームの映像情報を2つに分けたもの。通常のテレビでは、このフィールドを交互に映し出すことで1フレームを構成します。

フレームスチル/フィールドスチル (DVD、VCD) : 動画を一時停止して静止画像にすることをスチルといいます。フレームスチルでは、2フィールドを交互に映し続けるため、画像にブレが生じることがありますが画質は良くなります。フィールドスチルでは、画像情報が半分のため画質は荒くなりますが画面のブレはありません。

IPB表示 (DVD) : DVDでの映像方式のMPEG2では、1画面を以下の3つのピクチャータイプに分けデジタル信号に符号化しています。

I-ピクチャー (フレーム内符号化) : 基準の映像であり、単独で画面を構成します。画質が最もよく、画質を調整する場合はこの静止映像が適しています。

P-ピクチャー (前方向予測符号化) : 過去の映像 (I-ピクチャーまたはP-ピクチャー) から算出される映像です。

B-ピクチャー (両方向予測符号化) : 前後の映像 (I-ピクチャーまたはP-ピクチャー) の比較から算出されるもので、映像情報がもっとも少ない画面です。

P.B.C. (Play Back Control) (VCD) : 「プレイバックコントロール付き」などとディスクやジャケットに書かれているビデオCDは、テレビに表示されるメニュー画面を見ながら、見たい場所や情報を階層構造を用いて対話方式で再生することができます。

OSD (On Screen Display) : OSDとは、テレビ画面にメニューやアイコンなどを表示し、対話方式で操作する方法をいいます。

On Screen Message : 操作をしたときにテレビ画面に表示される表示をいいます。

ダウンコンバージョン : 96kHzや192kHzのハイサンプリングレートのPCM信号を48kHzまたは44.1kHzに変換することをいいます。

ダイナミックレンジ : オーディオ信号の再生可能な最小信号と最大信号の差をいいます。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証書（別途添付）

製品には保証書が（別途）添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。（お問い合わせ先は、「ケンウッドサービス網」をご覧ください。）

補修用性能部品の保有期間

当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。付属の保証書で、お買い上げのシステム機器（基本システム）すべての保証修理が受けられます。

修理を依頼される時は

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常がある時は、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービス窓口が修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理／持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号（Serial No.）
- お買い上げ年月日
- 故障の症状（できるだけ具体的に）
- ご住所（ご近所の目印等も併せてお知らせください）
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

保証期間が過ぎている時は

保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

（有料修理の場合は、次の料金をいただきます）

- **技術料**：故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- **部品代**：修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- **出張料**：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- **送料**：郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

お買い上げ店名

電話（ ） -

ケンウッド全国サービス網

製品に対するお問合せ、アフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお申しつけください。

北海道			
札幌サービスセンター	〒 007-0834	札幌市東区北34条東14丁目1-23	電話 (011) 743-7740
帯広サービスステーション	〒 080-2472	帯広市西22条南3-32-6	電話 (0155) 33-0611
旭川サービスステーション	〒 070-0036	旭川市6条通14丁目63-5	電話 (0166) 24-3810
東北			
仙台サービスセンター	〒 984-0042	仙台市若林区大和町5-32-12 (サンライズ大和)	電話 (022) 284-1171
盛岡サービスセンター	〒 020-0124	盛岡市厨川4-5-11	電話 (019) 646-2311
青森サービスステーション	〒 030-0821	青森市勝田1-19-4	電話 (017) 735-3431
八戸サービススポット	〒 031-0081	八戸市柏崎6-7-4	電話 (0178) 45-8846
秋田サービスステーション	〒 010-0877	秋田市千秋矢留町9-14	電話 (018) 836-0131
郡山サービスステーション	〒 963-0107	郡山市安積3-257	電話 (024) 945-8279
山形サービスステーション	〒 990-0034	山形市東原町3-9-8	電話 (023) 623-7441
関東・甲信越			
高崎サービスセンター	〒 370-0073	高崎市緑町2-9-1	電話 (027) 362-6211
新潟サービスステーション	〒 950-0923	新潟市姥ヶ山1-5-37	電話 (025) 287-7736
松本サービスステーション	〒 390-0832	松本市南松本2-7-30 (昭和ビル2F)	電話 (0263) 26-7331
さいたまサービスセンター	〒 330-0033	さいたま市本郷町258-1	電話 (048) 664-3611
宇都宮サービスステーション	〒 321-0962	宇都宮市今泉町1639-3	電話 (028) 638-3161
水戸サービスステーション	〒 311-4152	水戸市河和田3-2422-1	電話 (029) 253-6711
千葉サービスセンター	〒 261-7117	千葉市美浜区中瀬2-6 (ワールドビジネスガーデン マリブイースト17F)	電話 (043) 297-2311
柏サービスステーション	〒 277-0081	柏市富里1-2-1	電話 (0471) 63-1441
池袋サービスカウンター	〒 171-0022	豊島区南池袋3-18-43 (内山ビル1F)	電話 (03) 5958-4810
東京サービスセンター	〒 153-0042	目黒区青葉台3-17-9	電話 (03) 3477-5411
立川サービスステーション	〒 190-0012	立川市曙町1-24-11 (橋本ビル1F)	電話 (042) 523-2151
横浜サービスステーション	〒 221-0835	横浜市神奈川区鶴屋町3-33-18 (SKビル1F)	電話 (045) 314-2591
神奈川中央サービスセンター	〒 228-0012	座間市広野台2-8-21	電話 (046) 256-9681

中部			
名古屋サービスセンター	〒 462-0861	名古屋市北区辻本通1-11	電話 (052) 917-2550
静岡サービスセンター	〒 420-0816	静岡市沓谷5-61-1	電話 (054) 262-8700
豊橋サービスステーション	〒 440-0051	豊橋市東雲町62-1 (センティア広野1F)	電話 (0532) 63-3280
津サービスステーション	〒 514-0042	津市新町2-10-29 (新町オフィスビル1F)	電話 (059) 222-4360
金沢サービスセンター	〒 920-0024	金沢市西念3-29-11	電話 (076) 265-5045
近畿			
大阪サービスセンター	〒 532-0034	大阪市淀川区野中北2-1-22	電話 (06) 6394-8075
京都サービスステーション	〒 612-8374	京都市伏見区治部町56-1	電話 (075) 603-7750
神戸サービスカウンター	〒 651-0088	神戸市中央区小野柄通5-1-5 (永原ビル1F)	電話 (078) 271-3280
中国・四国			
広島サービスセンター	〒 731-0137	広島市安佐南区山本1-8-23	電話 (082) 832-2210
岡山サービスステーション	〒 700-0953	岡山市西市308-6	電話 (086) 241-8037
高松サービスセンター	〒 760-0068	高松市松島町3-1	電話 (087) 835-2413
松山サービスステーション	〒 791-8013	松山市山越4-11-2	電話 (089) 925-5760
九州			
福岡サービスセンター	〒 815-0035	福岡市南区内野2-8-18	電話 (092) 551-9755
北九州サービスステーション	〒 802-0044	北九州市小倉北区熊本1-12-25	電話 (093) 921-2771
熊本サービスステーション	〒 862-0910	熊本市健軍本町29-3	電話 (096) 368-4161
大分サービスステーション	〒 870-0921	大分市萩原2-9-18	電話 (097) 553-3207
宮崎サービスステーション	〒 880-0803	宮崎市旭1-6-30 (サニービル2F)	電話 (0985) 26-1161
鹿児島サービスステーション	〒 890-0056	鹿児島市下荒田2-20-1	電話 (099) 251-6347
沖縄サービスステーション	〒 901-2227	宜野湾市宇地泊89	電話 (098) 898-2255
カスタマーサポートセンター			
カスタマーサポートセンター東京	〒 153-0042	東京都目黒区青葉台3-17-9	FAX (03) 3477-5334 電話 (03) 3477-5335
カスタマーサポートセンター大阪	〒 532-0034	大阪市淀川区野中北2-1-22	FAX (06) 6394-8308 電話 (06) 6394-8085

- ケンウッドサービス窓口 営業時間のご案内 月曜日～金曜日 (土曜、日曜、祭日及び当社休日を除く) 午前10時から午後6時まで
- 池袋・神戸サービスカウンター 営業時間のご案内 <持込修理取次店> 日曜日～土曜日 (木曜及び当社休日を除く) 午前10時から午後7時まで
- カスタマーサポートセンター 営業時間のご案内 月曜日～金曜日 (土曜、日曜、祭日及び当社休日を除く) 午前9時から午後6時まで
(各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください)

定格

フォーマット

形式 DVDオーディオ ver.1.2/ DVDビデオ ver.1.1
 レーザー 非接触光学式読み取り (半導体レーザー)

オーディオ部

周波数特性
 サンプルング周波数：44.1 kHz (CDのみ)
 4 Hz ~ 20 kHz (JEITA)
 サンプルング周波数：48 kHz 4 Hz ~ 22 kHz
 サンプルング周波数：96 kHz 4 Hz ~ 44 kHz
 サンプルング周波数：192 kHz (DVDオーディオのみ)
 4 Hz ~ 88 kHz
 SN比 100 dB (JEITA)
 ダイナミックレンジ 95 dB (JEITA)
 総合ひずみ率
 2 CH. (ダウンミックス) ... 0.006 % (1 kHz) 以下 (JEITA)
 5.1 CH. 0.010 % (1 kHz) 以下 (JEITA)
 チャンネルセパレーション 90 dB 以上 (1kHz) (JEITA)
 アナログ出力レベル/出力インピーダンス
 MIX LINE OUTPUT 2.0 V/510 Ω
 6CH. OUTPUT 2.0 V/510 Ω
 デジタル出力レベル/負荷インピーダンス
 コアキシャル 0.5 Vp-p/ 75 Ω
 オプティカル (発光波長 660nm) -21 dBm ~ -15 dBm

ビデオ部

ビデオ出力形式 NTSC
 コンポジットビデオ出力レベル 1 Vp-p / 75 Ω
 S-Video ビデオ出力レベル
 Y-信号 1 Vp-p / 75 Ω
 C信号 0.286 Vp-p / 75 Ω
 コンポーネントビデオ出力レベル
 Y-信号 1 Vp-p / 75 Ω
 CB信号 0.700 Vp-p / 75 Ω
 CR信号 0.700 Vp-p / 75 Ω
 ビデオSN比 60 dB
 水平解像度 500 本

電源部・その他

定格電圧・電源周波数 AC100V 50/60 Hz
 定格消費電力 (電気用品安全法に基づく表示) 20 W
 最大外形寸法 幅：440 mm
 高さ：75 mm
 奥行：282 mm
 質量 (重量) 3.5 kg (正味)

これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。

極端に寒い (水が凍るような) 場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町 2967-3

商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

カスタマーサポートセンター東京 電話(03)3477-5335 FAX(03)3477-5334 〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9

カスタマーサポートセンター大阪 電話(06)6394-8085 FAX(06)6394-8308 〒532-0034 大阪市淀川区野中北 2-1-22

アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。